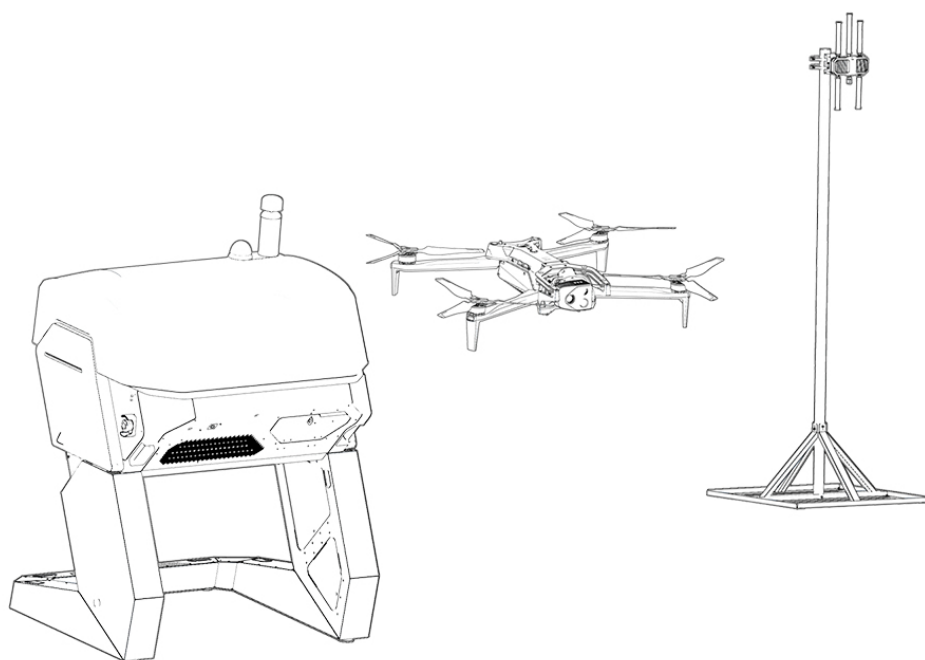


Skydio Dock for X10

メンテナンスマニュアル



内容

メンテナンスマニュアル	3
安全ガイドライン	4
点検・メンテナンスの間隔	7
お客様が実施するメンテナンス	7
Skydio 提供（または認定パートナー提供）メンテナンス	10
一般的なケア	13
フライトシステムの状態	14
デバイスページ	17
デバイスページへのアクセス方法	17
概要（Overview）	23
接続状況 (Connectivity)	27
Settings（設定）	29
Dock for X10 フライトシステムの清掃方法	33
必要なアイテム	33
安全情報	34
準備	35
Dockの清掃手順	37
監視および定期メンテナンス	42
ドローンの交換と運用の再開	43
デバイスの登録とリンク	43
デバイスの登録方法	44
ドローン名およびバッテリーシリアル番号の確認手順	45
デバイスのリンク方法	46
センサーパッケージの交換方法	47
必要なアイテム	48
安全情報	49
センサーパッケージの取り外し	49

センサーパッケージの取り付け	52
機能確認	60
お客様によるメンテナンス作業	60
X10プロペラ	60
X10ドローンバッテリーのメンテナンス	78
フライトシステムソフトウェア、ファームウェア、Skydio Cloudの更新	83
機能確認飛行	91
機能確認飛行の手順	93
メンテナンスおよび機能確認飛行ログテンプレート	95
緊急停止およびロックアウト/タグアウト	96
E-ストップ情報	96
ロックアウト／タグアウト（LOTO）	98
メンテナンスログ	99
メンテナンス間隔の記録	99
メンテナンスログのテンプレート	99
Skydioサポート	100
Skydioのサポート時間	100
Skydioサポートへのお問い合わせ手順	100
サポートログのアップロード手順	101
フライトサポートログのアップロード方法	101
デバイスサポートログのアップロード方法	102
利用規約	103
安全な運用のために	103
バッテリー	103
JCABリモートIDコンプライアンスステートメント	104
ソフトウェアライセンス	104
その他のリソース	104
改訂履歴	105

メンテナンスマニュアル

このドキュメントでは、Skydio Dock for X10フライトシステム、外部無線機、およびドローンに関する、日常的なケア、点検、基本的な診断およびトラブルシューティング、Skydioサポートへ連絡するタイミング、年次メンテナンスの要件、ならびにコンプライアンスのためのメンテナンス記録方法について説明します。

このマニュアルの使用方法

重要： Skydio は、保守条件を独自の裁量により変更、更新、または終了する権利を有します。最新情報については、本マニュアルの最新版をご確認ください。

Skydio Dock for X10 フライトシステムの性能を最適化するためには、システムを最新の状態に保ち、機器を点検し、適切に清掃し、必要に応じてプロペラおよびバッテリーを交換することが重要です。

日本では、国土交通省航空局（JCAB）の要件に基づき、遠隔操縦者はメーカーのガイドラインに従ってフライトシステムを維持管理し、すべてのメンテナンス実施記録を記録する責任があります。本マニュアルには、フライトシステムの寿命を通じて安全な運用を確保するために必要な、メンテナンスログ、保守間隔、および保守手順が記載されています。

Dock for X10の耐用年数

Skydio Dock for X10 の耐用年数は、推奨されるメンテナンスを実施した場合で5年です。

注意事項

- 公式ドキュメントおよび最新情報に従ってください。
- Skydio ドキュメント内の指示または推奨事項に従わない場合、利用規約が無効となる可能性があります。
- www.skydio.com/safety

安全ガイドライン

このセクションには、安全上および機能上重要な情報が含まれています。

危険

- 感電の危険があります。
- 本機器の保守作業を行う前に、以下を実施してください。
 - Dock の緊急停止（E-Stop）ボタンを作動させる。
 - Dock の電源を OFF にする。
 - Dock を AC 電源から切り離す。
 - Dock からすべての外部データケーブルおよび電源ケーブルを取り外す。
 - 現場要件に従い、必要なロックアウト／タグアウト（LOTO）手順を完了する。

危険

- モーター駆動式 Dock for X10 の可動部に注意してください。

危険

- 火災、爆発、重大な人身傷害、または死亡事故のおそれがあります。

警告

- 不適切な保守・点検は、重大な人身傷害または物的損害の原因となるおそれがあります。

警告

- プロペラにより、重傷または機体の制御喪失を招くおそれがあります。

警告

- 飛行安全性が低下するおそれがあります。

警告

- 火災または機器損傷のおそれがあります。

警告

- 極端な環境条件により、火災、爆発、または負傷のおそれがあります。
- 以下の条件では、バッテリーの充電、使用、保管を行わないでください。
 - 極端な温度環境（14°F / -10°C 以下、または 140°F / 60°C 以上）
 - 直射日光下
 - 高温の車内

警告

- 損傷したバッテリーや不適切に取り扱われたバッテリーにより、火災、爆発、または負傷のおそれがあります。

警告

- リチウムイオンバッテリーの輸送中に、火災、爆発、または負傷のおそれがあります。
- 以下を実施してください。
 - 端子部を保護する。
 - 各バッテリーを非導電性材料で個別に梱包する。
 - 梱包に「リチウムイオン電池、UN3480/UN3481」と表示する。

注意

- ルーフ動作中に、風速計（Anemometer）または雨量センサー（Rain Sensor）が損傷するおそれがあります。

注意

- 機器の設定不良または動作不良のおそれがあります。

注意

- 機器が損傷するおそれがあります。

注意

- 不適切な保管条件または低充電状態により、バッテリーが損傷するおそれがあります。

注意事項

- Dock の充電および運用におけるバッテリー互換性。

点検・メンテナンスの間隔

お客様が実施するメンテナンス

このセクションには、お客様が実施するメンテナンスに関する情報が記載されています。

警告

- 不適切な保守・点検は、重大な人身傷害または物的損害の原因となるおそれがあります。

重要：ドローンのメンテナンスおよび Dock for X10 フライトシステムのソフトウェア更新は、お客様が実施する必要があります。これには、X10 ドローン、Dock for X10、および外部無線機（External Radio）のソフトウェア更新が含まれます。

X10ドローンのお客様による保守

重要：各メンテナンスサイクルの終了時には、機能確認飛行（FCF: Functional Check Flight）の実施を推奨します。

メンテナンス内容	メンテナンス作業	責任者	メンテナンス周期
ソフトウェア／ファームウェア更新	インストール	顧客	システム更新が利用可能になり次第 注： リリースノートは Skydio サポートを参照してください。

メンテナンス内容	メンテナンス作業	責任者	メンテナンス周期
ナビゲーションカメラレンズ清掃	清掃	顧客	必要に応じて、またはドローンの定期点検時 注：カメラは定期的に点検する必要があります。 ドローンカメラが汚れていて拭き取りが必要な場合は、Remote Flight Deckに通知が表示されることがあります。
プロペラ交換	交換	顧客	250 飛行時間ごと、または損傷時 高負荷飛行条件下で複数アタッチメントを装着して飛行した場合は 100 飛行時間ごと* 注：Dock for X10 フライトシステムでは、REV 2 プロペラを使用して飛行してください。

メンテナンス内容	メンテナンス作業	責任者	メンテナンス周期
バッテリー交換	交換	顧客	300バッテリーサイクルごと 注：バッテリーサイクルとは、バッテリー容量の80%以上を消費することを指します。損傷がなく適切に保管されたバッテリーは、300サイクルを超えても安全に使用できる場合があります。
未使用バッテリー	充放電	顧客	2 か月ごとに1回の充放電が必要
ドローンアタッチメント	交換	顧客	製造日から3年

* REV 2 プロペラのメンテナンス間隔は、高負荷飛行時間 100 時間を超えても安全に使用できることが飛行試験で確認された場合、延長されます。変更がある場合は、今後の Flight System Updates にて告知され、Skydio Cloud のプロペラデバイスページにも反映されます。

重要：将来的にプロペラ寿命が延長された場合でも、各飛行前に実施すべき運用準備確認のための飛行前点検要件が変更または緩和されることはありません。

注：複数アタッチメント装着時の高負荷運用とは、ドローンに複数のアタッチメントを装着した状態で、以下の条件を伴う運用を指します。

- 持続的な飛行対気速度が時速33マイル（53km）を超えている
- 急激または最大スロットル・ピッチ・ヨー操作

- 強風または突風環境での飛行

お客様によるDock for X10の保守

重要：各メンテナンスサイクルの終了時には、FCF（機能確認飛行）の実施を推奨します。

メンテナンス内容	メンテナンス作業	責任者	メンテナンス周期
ソフトウェア更新	インストール	顧客	システム更新が提供され 次第 注： リリースノートは Skydioサポートを参照 してください。
Dockカメラレンズ	レンズ清掃	顧客	必要に応じて、またはド ローンの定期点検時 注： カメラは定期的に点 検する必要があります。

Skydio 提供（または認定パートナー提供）メンテナンス

このセクションには、Skydio または認定パートナーが提供するメンテナンスに関する情報が記載されています。

Skydio のメンテナンス責任範囲

Skydio Dock for X10 フライトシステムの年次メンテナンスおよび必要時修理サービスは、Skydio 認定技術者またはフィールドサービスチームによって実施される必要があります。

重要：各メンテナンスサイクル終了時には、機能確認飛行（Functional Check Flight: FCF）の実施を推奨します。

危険

- 感電の危険があります。
- 本機器の保守作業を行う前に、以下を実施してください。
 - Dock の緊急停止（E-Stop）ボタンを作動させる。
 - Dock の電源を OFF にする。
 - Dock を AC 電源から切り離す。
 - Dock からすべての外部データケーブルおよび電源ケーブルを取り外す。
 - 現場要件に従い、必要なロックアウト／タグアウト（LOTO）手順を完了する。

警告

- 不適切な保守・点検は、重大な人身傷害または物的損害の原因となるおそれがあります。

メンテナンス内容	メンテナンス作業	責任者	メンテナンス周期
年次メンテナンス	ドック表面清掃	Skydio / 認定パートナー	設置日から12か月後、 およびその後12か月ごと
	ドックカメラ清掃	Skydio / 認定パートナー	
	フィルター交換	Skydio / 認定パートナー	
	ベルトダンパー交換	Skydio / 認定パートナー	
	充電器交換（必要時）	Skydio / 認定パートナー	
	プラットフォームヒンジ 締付	Skydio / 認定パートナー	

メンテナンス内容	メンテナンス作業	責任者	メンテナンス周期
	ユーザーパネルマグネット再固定	Skydio / 認定パートナー	
	外観点検	Skydio / 認定パートナー	
	診断テスト実施	Skydio / 認定パートナー	
必要時修理	故障した現地交換可能ユニット（FRU）の修理または交換	Skydio / 認定パートナー	ユニットが故障または損傷した場合に必要な応じて実施

Dock for X10 フライトシステムの年次点検およびメンテナンス

Dock for X10 フライトシステムの運用寿命は 5 年です。この期間中、フライトシステムには定期的なケアおよびメンテナンスが必要です。

設置日から 1 年間運用した後、Dock for X10 フライトシステムは年次メンテナンス点検およびサービスの対象となります。本サービスは、Skydio 認定技術者またはフィールドサービスチームによって実施されます。

年次サービス訪問は、Skydio 販売代理店へご連絡ください。

年次メンテナンス点検には、以下が含まれます。

- 診断テスト（自動実行、技術者向け）
- 外観点検
- 摩耗または損傷した内部部品の修理
- ドローン点検
- 吸気フィルター交換
- 機能確認飛行（FCF）

一般的なケア

このセクションには、一般的なケアに関する情報が記載されています。

概要

Dock for X10 フライトシステムの運用寿命は5年です。この期間中、フライトシステムには定期的なケアおよびメンテナンスが必要です。

重要：本セクションに記載されているメンテナンス作業は、システムの運用性を維持するために不可欠であり、お客様の責任において実施する必要があります。

本ドキュメントに記載されている作業は、所有者／運用者（Owner/Operator）が実施するものであり、Field Services パッケージには含まれていません。

飛行前点検

フライトシステムを運用する前には、毎回飛行前点検を実施する必要があります。

重要：点検中に安全な使用に影響を与える問題が特定された場合には、操作を中止し、必要なメンテナンスを実施してください。

機能確認飛行（FCF）

各メンテナンス周期完了後、およびシステムを運用へ復帰させる前には、機能確認飛行（Functional Check Flight: FCF）を実施する必要があります。

各メンテナンス作業完了後には、FCF を実施し、メンテナンスログを作成することを推奨します。

注：FCF およびメンテナンスログの詳細については、このマニュアルの[機能確認飛行 \(FCF\)](#)および[メンテナンスログ](#)のセクションを参照してください。

診断およびトラブルシューティング

診断やトラブルシューティングについてサポートが必要な場合は、Skydioサポートまでご連絡ください。

参照先：[Skydioサポートへの問い合わせ方法](#)。

フライトシステムの状態

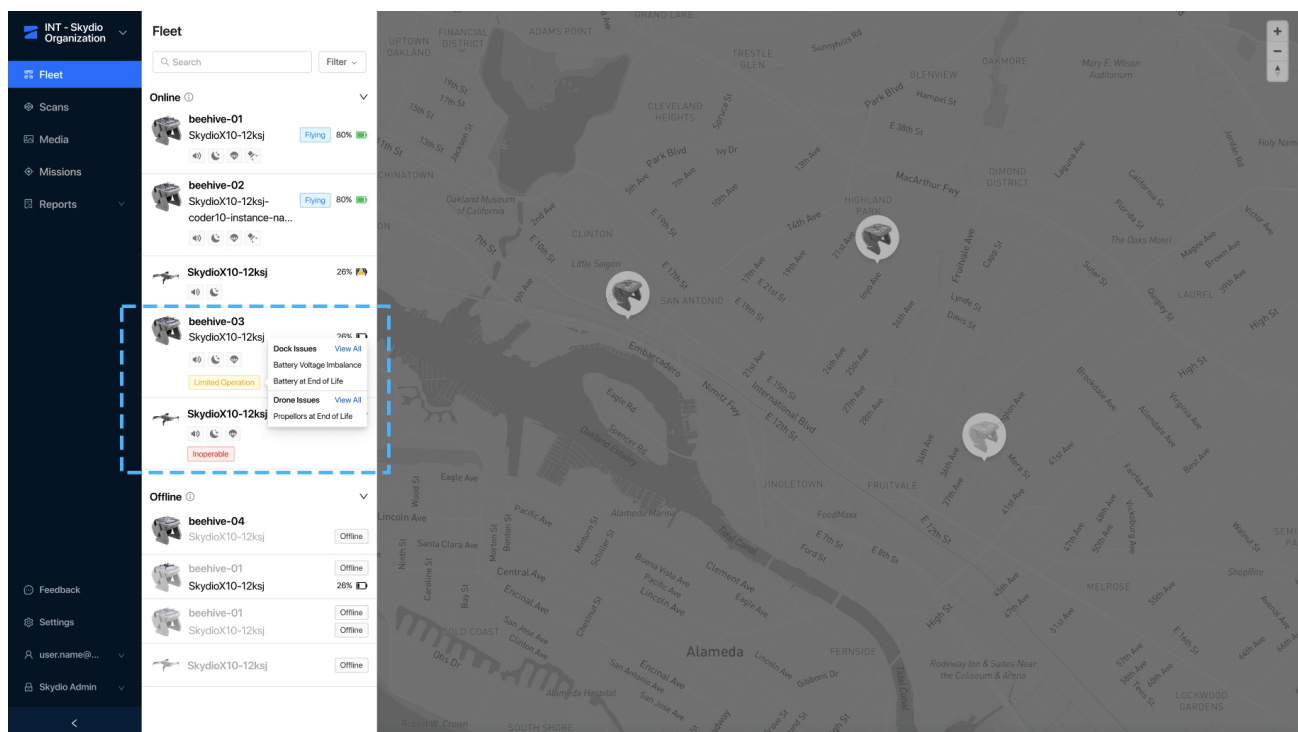
このセクションには、システムの健全性と接続性の状態に関する情報が含まれています。

ヘルスステータス（フリートページ）

Fleet Page では、各フライトシステムの概要を確認でき、センサーパッケージやアタッチメントに関する情報も表示されます。

重要：デバイスが「Limited Operation（制限運用）」または「Inoperable（運用不可）」状態の場合、システムにメンテナンスが必要な可能性があります。

問題の概要を確認するには、デバイスステータス（例：フロントカメラの故障など）の上にカーソルを合わせてください。推奨対応については、Device Page に移動してください。



項目	定義
運用不可 [Inoperable]	デバイスの健全性を示します。 重大な問題により飛行が不可能な状態であり、直ちに対応が必要です。
制限付き運用 [Limited Operation]	デバイスの健全性を示します。 一部機能が制限されています。問題の内容によっては飛行可能な場合もありますが、早急なメンテナンスが必要です。
既知の問題なし [No Known Issues]	デバイスの健全性を示します。 正常に動作しています。

接続状況

ネットワーク接続状態を示し、Flight System ページ（Fleet > Dock 名を選択）に表示されます。

項目	定義
オンライン	ネットワーク接続状態を示します。 システムは接続されており、飛行可能な状態です。
オフライン	ネットワーク接続状態を示します。 システムは切断されています。

Skydio Cloud におけるフライトシステム問題の診断

影響を受けたコンポーネントまたはモジュールが飛行運用上重要と分類されていない場合、重大な問題であってもフライトシステムが必ずしも運用不能になるとは限りません。

注：詳細なガイダンスについては Skydio Support へ連絡してください。ただし、すべての問題でフィールドサービス技術者による現地での内部部品交換が必要になるわけではありません。

例

例：Fleet 内のフライトシステムが「Limited Operation」と表示されている場合。ここの「Limited Operation」タグにカーソルを合わせると、「X10 プロペラの交換が必要」と表示されることがあります。このメンテナンス作業は、お客様組織内の適切な担当者が実施する必要があります。

社内メンテナンス手順に従い、メンテナンス作業を記録し、通常の飛行運用を再開する前に、正常な機能確認飛行（FCF）を実施してください。

デバイスページ

このセクションには、Device Pages（デバイスページ）に関する情報が記載されています。

個々の**デバイスページ**では、以下の項目を含むシステムの状態を監視できます。

- ドローン
- Dock
- 外部アンテナ [External Radios]
- バッテリー
- コントローラー

注：飛行前点検時にデバイスページを確認することを推奨します。

各デバイスページでは、以下を一元的に確認できます。

- 接続状態 [Connectivity Status]
- 健全性概要 [Health Overview]
- 未解決の問題 [Outstanding Issues, Issue Cards]
- 推奨対応策 [Suggested Resolutions]
- その他、各デバイスタイプに関連する情報

各デバイスページには3つのメニュータブがあります。

- Overview 概要
- Connectivity 接続状況
- Settings 設定

デバイスページへのアクセス方法

デバイスページにアクセスするには、次の2つの方法があります。

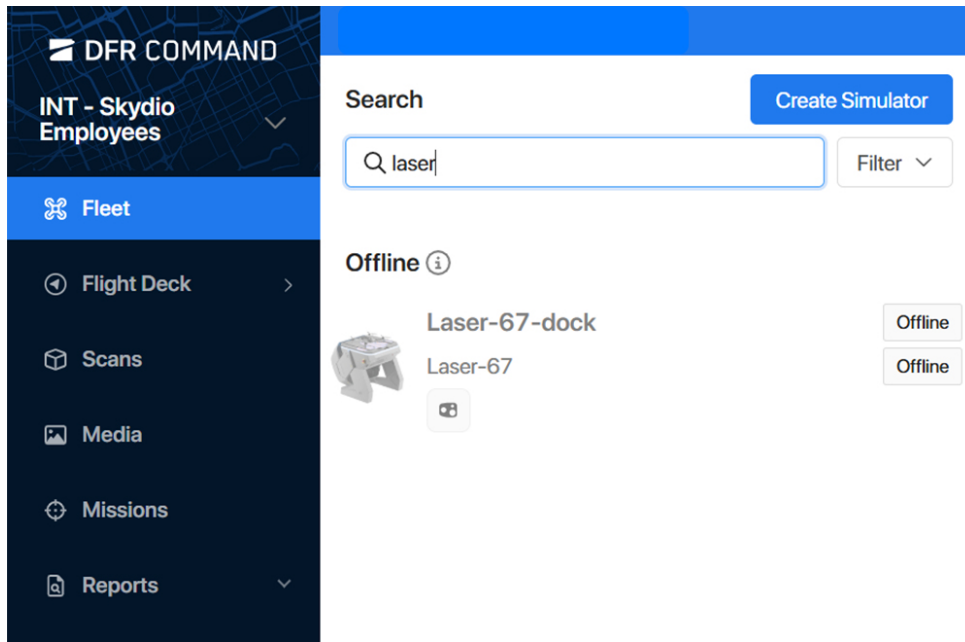
注：X10 ドローンおよび Dock for X10 のみ対象です。

方法 1

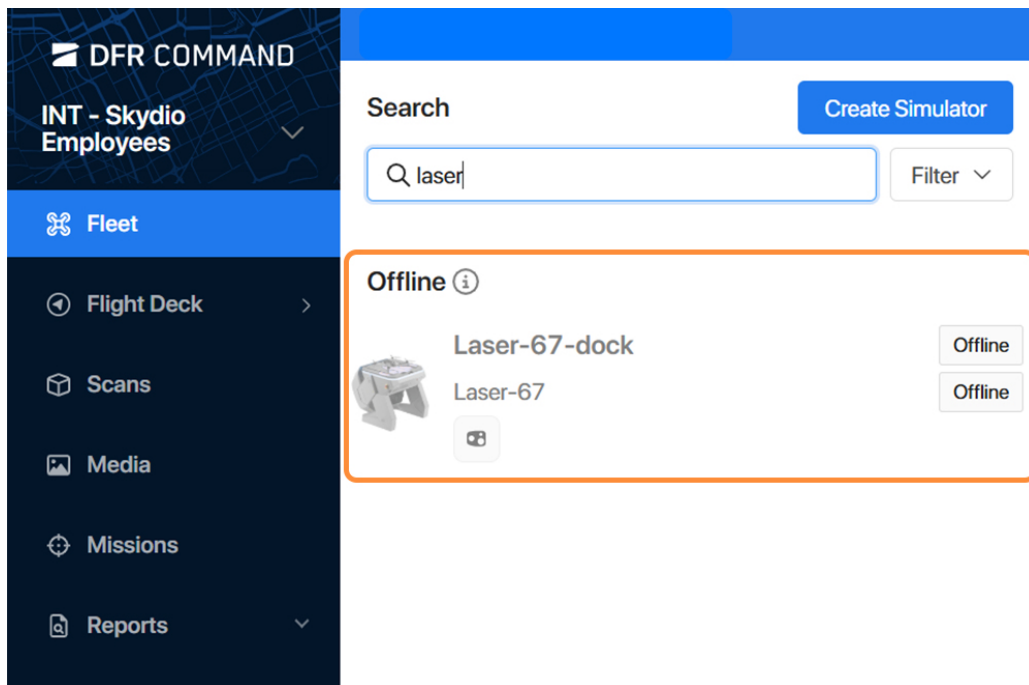
1. Skydio Cloudにログインします。

<https://cloud.skydio.com/entry/login>

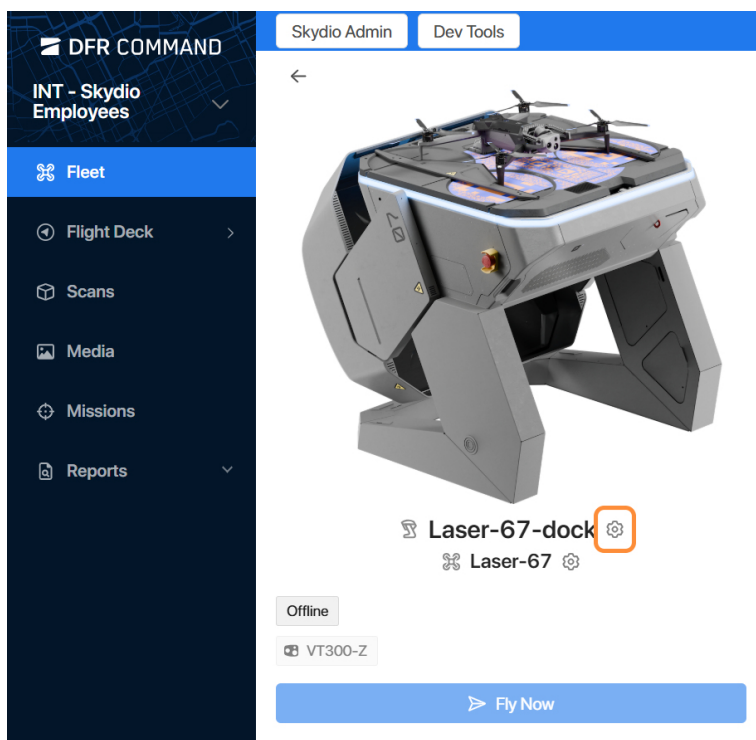
2. フリートページに移動します。



3. デバイスを選択してください。



4. デバイスページを表示するには、デバイス名の横にある歯車アイコンをクリックしてください。

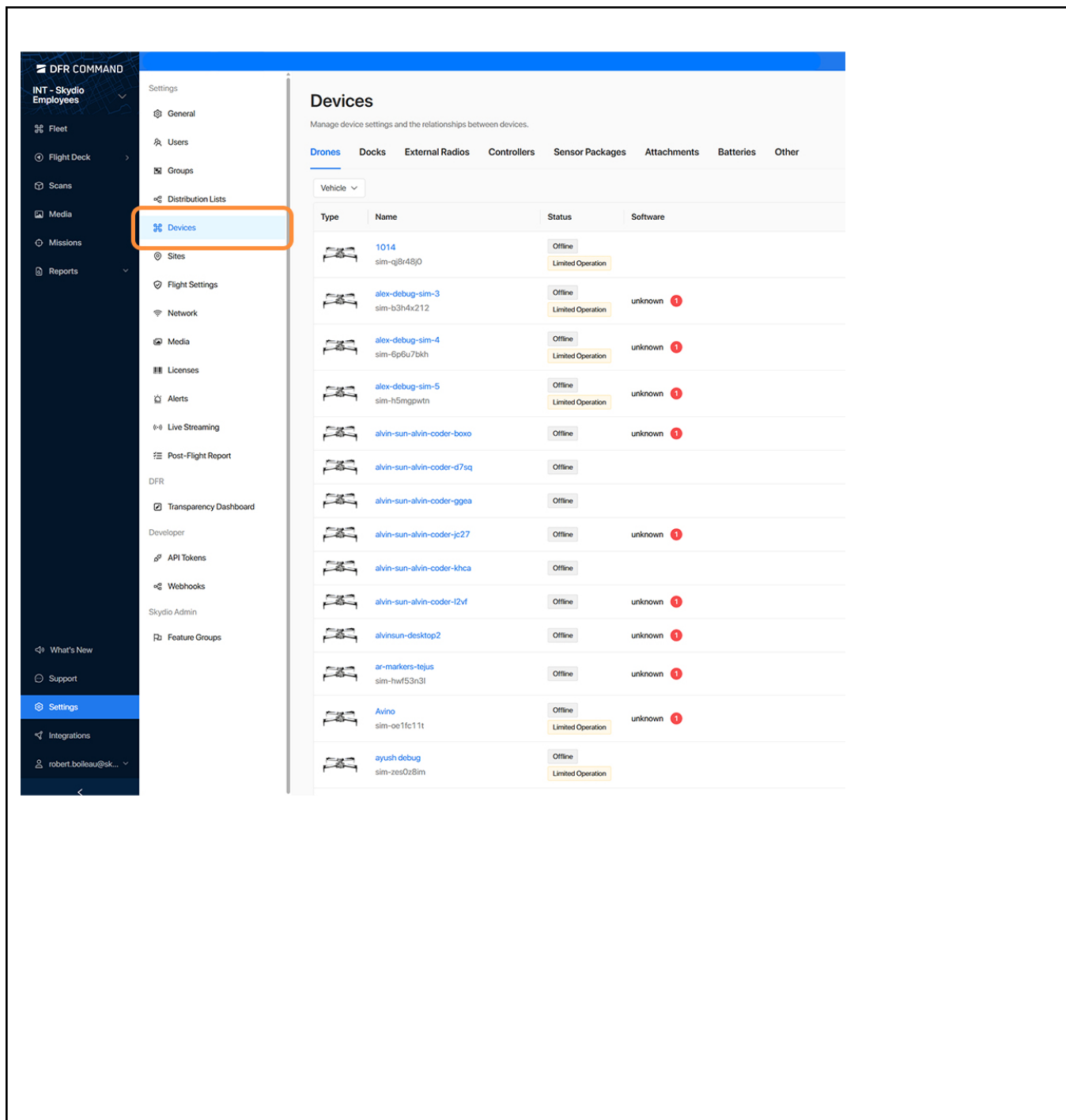


方法 2

1. Skydio Cloudにログインします。

<https://cloud.skydio.com/entry/login>

2. Settings [設定] > Devices [デバイス] に移動します。



The screenshot shows the Skydio Cloud interface. On the left sidebar, the 'Settings' menu is expanded, and the 'Devices' option is highlighted with an orange box. The main content area displays the 'Devices' page, which includes a sub-header 'Manage device settings and the relationships between devices.' and a tabbed interface with 'Drones' selected. Below the tabs, there is a table listing various devices with columns for Type, Name, Status, and Software.

Type	Name	Status	Software
	1014 sim-q8r48j0	Offline Limited Operation	
	alex-debug-sim-3 sim-b3h4x212	Offline Limited Operation	unknown 1
	alex-debug-sim-4 sim-6p6u7bkh	Offline Limited Operation	unknown 1
	alex-debug-sim-5 sim-h5mgpwtm	Offline Limited Operation	unknown 1
	alvin-sun-alvin-coder-boxo	Offline	unknown 1
	alvin-sun-alvin-coder-d7sq	Offline	
	alvin-sun-alvin-coder-ggea	Offline	
	alvin-sun-alvin-coder-jc27	Offline	unknown 1
	alvin-sun-alvin-coder-khca	Offline	
	alvin-sun-alvin-coder-t2vf	Offline	unknown 1
	alvinsun-desktop2	Offline	unknown 1
	ar-markers-tejus sim-hwf53n3l	Offline	unknown 1
	Avino sim-oe1fc11t	Offline Limited Operation	unknown 1
	ayush debug sim-zes0z8lm	Offline Limited Operation	

3. トップメニューからデバイスタイプを選択します。

Devices

Manage device settings and the relationships between devices.

[Drones](#) [Docks](#) [External Radios](#) [Controllers](#) [Sensor Packages](#) [Attachments](#) [Batteries](#) [Other](#)

Vehicle ▾

Type	Name	Status	Software
	1014 sim-qj8r48j0	Offline Limited Operation	
	alex-debug-sim-3 sim-b3h4x212	Offline Limited Operation	unknown 1
	alex-debug-sim-4 sim-6p6u7bkh	Offline Limited Operation	unknown 1
	alex-debug-sim-5 sim-h5mgpwtn	Offline Limited Operation	unknown 1
	alvin-sun-alvin-coder-boxo	Offline	unknown 1
	alvin-sun-alvin-coder-d7sq	Offline	
	alvin-sun-alvin-coder-ggea	Offline	
	alvin-sun-alvin-coder-jc27	Offline	unknown 1
	alvin-sun-alvin-coder-khca	Offline	
	alvin-sun-alvin-coder-l2vf	Offline	unknown 1

4. 特定のデバイスを選択して、そのデバイスページを表示します。

Devices

Manage device settings and the relationships between devices.

Drones
Docks
External Radios
Controllers
Sensor Packages
Attachments
Batteries
Other

Sensor Package ▾

Type	Name	Status	Software	Notes
 VT300-L	3l-5us4	Offline	43.18	—
 VT300-L	3l-89dn	Offline	37.2.72	—
 VT300-L	3l-b97h	Offline	—	alexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalex View More
 VT300-L	3l-s9sa	Offline	40.249	—
 VT300-L	3l-ts8c	Offline	—	—
 VT300-L	3l-u76r	Offline	—	alexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalexalex View More
 VT300-L	3l-v2z4	Offline	—	—
 VT300-Z	3z-23ub	Offline	39.237	—
 VT300-Z	3z-25er	Offline	—	—
 VT300-Z	3z-2za8	Offline	—	—

関連情報

Overview 概要

Connectivity 接続状況

[Settings 設定](#)

概要 (Overview)

このセクションには、Device Page の「Overview（概要）」タブに関する情報が記載されています。

The screenshot displays the 'Overview' tab for a device named '1014-dock'. The interface includes a top navigation bar with tabs: Overview (selected), Connectivity, Settings, Simulator Tools, Media Sync, Developer, Cloud Config, and Data Files. The main content area is divided into two sections. On the left, the 'Details' section lists various device attributes in a table-like format. On the right, there is an 'Issues' section with a timestamp and a support link. A large gray placeholder box with the text 'No location data' is positioned in the center of the main content area.

Details	
Connectivity	Offline
Device Health	No Known Issues
Serial Number	sim-fdw13i5w
Dock ID	sim.fdw13i5w
Software	Unknown
Lifetime Flights ⓘ	1 flight
Cloud Settings Last Synced	- Sync
Site	-

Issues
as of 10/14/25 4:28 PM PDT
[Contact Skydio Support](#)

No location data

デバイスページでは、デバイスの状態、位置、健全性、ソフトウェア、および主要な運用情報を一元的かつリアルタイムで確認できます。

Details

Connectivity

Online

Device Health

Inoperable

Battery

70%

Serial Number

SkydioX10-48df

Software

34.1.112 > 34.1.125

Lifetime Flights

1249 flights (123.7 hours)

Prop Hours

193 hours

Mark Replaced

Cloud Settings Last Synced

10/24/24 1:55 PM

C Sync

Site

Add site

ANSI Serial

1668BR40EA008SV9

項目	定義
接続状況 [Connectivity]	現在のネットワーク接続状態
デバイスヘルス [Device Health]	デバイスの状態（Dock、ドローン、外部無線機など）
バッテリー [Battery] （ドローンページ）	現在のバッテリー残量
シリアル番号 [Serial Number]	デバイスの英数字シリアル番号
ソフトウェア [Software]	各デバイスの現在のソフトウェアバージョン 重要： 通知に赤い点が表示されている場合は、利用可能な更新があることを示します。ソフトウェアバージョンを選択すると、Settings タブが開き、更新を開始できます。

項目	定義
累積フライト [Lifetime Flights]	この組織内における総飛行回数
プロペラ使用時間 [Prop hours] (ドローンページ)	飛行時間に基づく累積プロペラ使用時間 注： プロペラの状態を示すものではありません。
クラウド設定の最終同期 [Cloud Settings Last Synced]	最後に同期された日時 ヒント： サイト名をクリックすると、サイトエディタを利用できます。
サイト [Site] (Dockページ)	サイト名を表示します。
ANSIシリアル	Remote ID および登録用途に使用されるデバイス固有の識別番号

フライトシステム [Flight System]

Flight System
Online
Limited Operation



X10Dock-1294 (current device)
Limited Operation
Online


SkydioX10-3924
Online


External Radio ⓘ


U194858029
Online


VT300Z-1394
Online


A304858395
Online

フライトシステムには以下が表示されます。

- バッテリー

- アタッチメント
- センサーパッケージ
- 健全性状態

新しいデバイスをリンクするには、編集 [Edit] アイコンを選択してください。

問題 [Issues]

The screenshot displays the Skydio app interface. On the left, the 'Details' section lists various device metrics: Connectivity (Offline), Device Health (Limited Operation), Battery (Offline), Serial Number (sim-qj8r48j0), Software (Unknown), Lifetime Flights (1 flight, 0.6 hours), Prop Hours (-), Propeller Type (-), Battery Connector Pins (-), Cloud Settings Last Synced (-), Site (-), and ANSI Serial (1668BSIMQJ8R48J0). A map shows the device's location at 890 Market Street, San Francisco, CA 94102. Below this is the 'Flight System' section, which is Offline and shows a dock for X10 (1014-dock). On the right, the 'Issues' section is highlighted with a blue border. It shows the date and time as of 10/14/25 4:28 PM PDT and a 'Contact Skydio Support' button. Under 'Vehicle Software', there is a 'Setup Flight Required' warning. The 'Issues' list includes: 1. 'Issue' with a warning icon: 'Without a setup flight to identify the precise location and orientation of the dock, this flight system cannot be operated at night or without obstacle avoidance.' with a resolution to 'Add Dock to a Site and complete a Setup Flight'. 2. 'Issue' with a critical icon: 'Drone does not support Pathfinder because it is not in a site' with a resolution button.

デバイスが「**Limited Operation（限定運用）**」または「**Inoperable（運用不可）**」の場合、問題セクションに以下が表示されます。

- 診断障害の詳細を示す問題説明
- 運用への影響に基づく重大度評価
- 問題解決のための推奨対応策

注：連絡先情報を確認するには、**Skydioサポート**にお問い合わせください。

接続状況 (Connectivity)

このセクションには、デバイスページの「Connectivity（接続状況）」タブに関する情報が記載されています。

下の画像はドローンデバイスページの接続性タブを示しています。

Overview

Connectivity

Settings

Network Details

MAC Address(es)	3a:1d	
IP Address(es)	-	
Carrier(s)	T-Mobile	
ICCID	0000000000	

Connect Fusion

Note: Connect Fusion settings are kept synced between each linked dock, drone, and external radio

Connect 5G

Enable cellular connection for extended range. Carrier data rates may apply.



Restore Default

Save

Streaming

Color	rtsp://stream.skydio.com/SkydioX10-1234/color	
Thermal	rtsp://stream.skydio.com/SkydioX10-1234/thermal	
Live Telemetry	wss://stream.skydio.com/data/SkydioX10	

Speed Test

Vehicle

Downlink

Uplink

Media Sync

Start

項目	定義
ネットワークの詳細 [Network Details]	MAC アドレス、IP アドレス、携帯通信事業者、および SIM カードの ICCID (Integrated Circuit Card Identifier) を表示します
Connect Fusion (ドローンページ)	Connect 5G の有効／無効を切り替えます。 有効化すると、システムは Connect Fusion を使用して Connect SL と Connect 5G の両方に対して個別のストリームをエンコードし、リアルタイムで最も強い通信フィードを動的に選択します。
ストリーミング [Streaming]	Real Time Streaming Protocol (RTSP) 用のストリーミングリンクを提供します。
速度テスト [Speed Tests]	デバイスと Skydio Cloud 間のデータ転送性能を測定します。ネットワーク通信品質を評価し、接続性やデータスループットに関する問題を診断します。
	アップリンク ：ドローンから Skydio Cloud へのデータ転送速度を測定します。 注 ：テレメトリ、映像ストリーム、ログを Drone から Skydio Cloud へどの程度迅速にアップロードできるかを評価する際に有用です。
	ダウンリンク ：Skydio Cloud からドローンへのデータ転送速度を測定します。 注 ：ミッション更新や設定変更を Drone にどの程度迅速に送信できるか、および応答性を評価する際に有用です。
	メディア同期 ：メディア同期時の大容量データ転送性能を測定します。 注 ：ドローンから Skydio Cloud への写真や動画ファイルのアップロード評価に有用です。

Settings (設定)

このセクションには、Device Page の「Settings (設定)」タブに関する情報が記載されています。

設定メニューは、各デバイスの一般設定を管理するために使用されます。

ライセンスとツール

Overview

Connectivity

Settings

Licenses

Type	Expiration	Action
------	------------	--------

Remote Operations

☒

Enable Remote Operations

☒

Enable Scheduled Missions

Tools

Reboot Device

Reboot

Upload Skydio Device Support Log

Upload

Delete Vehicle Media

Delete

Delete Vehicle Logs

Delete

Download Cloud Configuration for this device

Download

Pathfinder

Regenerate Map

Status

Available

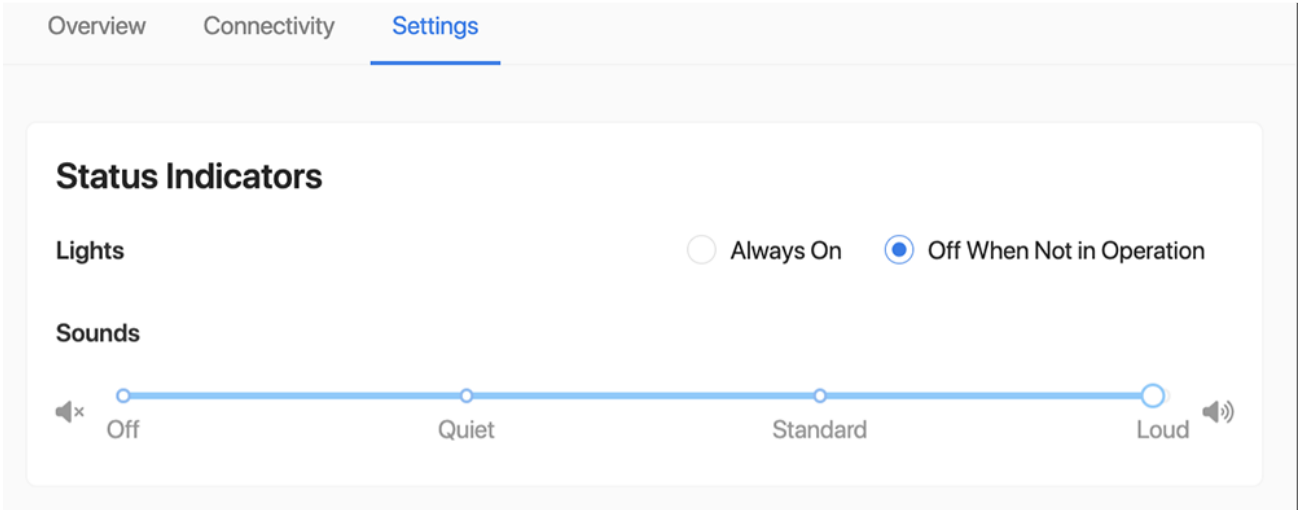
Map Last Generated

6/15/2025, 5:23:14 PM

項目	定義
ライセンス [Licenses]	フライトシステムに関連付けられている有効なライセンスを一覧表示します。
遠隔操作 [Remote Operations]	以下のオプションを利用できます。 ● 遠隔操作 [Remote Operations] を有効にする： 注：Dock およびリモート運用ではデフォルトで有効になっています。 ● 計画ミッション [Scheduled Missions] を有効にする： 選択したフライトシステムで事前計画ミッションを実行できるようにします。 注：Skydio Cloudのミッションタブから作成できます。

項目	定義
ツール [Tools]	以下のオプションを利用できます。 ● 再起動 [Reboot]：選択したデバイスをリモートで再起動します。この操作を行うと、デバイスの電源が再投入され、すべてのアクティブなプロセスおよび接続を終了した後、クリーンな再起動が実行されます。 ● Skydioデバイスサポートログをアップロード [Upload Skydio Device Support Log]：トラブルシューティングやサポートケースに役立つようにデバイスサポートログを添付します。 注：Skydioサポートとのやり取り時にデバイスサポートログの提出を求められる場合があります。 ● 機体メディアを削除 [Delete Vehicle Media]：機体のストレージからメディアを完全に削除して空き容量を確保するか、または機密データを削除します。 ● 機体ログを削除 [Delete Vehicle Logs]：機体のログを完全に削除してストレージの空き容量を確保するか、機密性の高い診断情報を削除します。 ● このデバイスのクラウド構成をダウンロード [Download Cloud configuration for this device]：監査、バックアップ、移行、またはサポートのために、現在の Cloud 設定をエクスポートします。

ライトと音声 [Lights and Sounds]



項目	定義
Dockデバイス設定	ステータスインジケーター
ライト	以下から選択します： - 常時オン [Always On] - 操作時以外オフ [Off When Not in Operation]
音声	以下から選択します： - 無効 [Off] - 静音 [Quiet] - 標準 [Standard] - 大音量 [Loud]

Dock for X10 フライトシステムの清掃方法

このセクションでは、Dock for X10 フライトシステムの清掃方法について説明します。

必要なアイテム

部品

数量	品目	備考
1x	ルーフエンクロージャー	
1x	プラットフォーム	
1x	ベース	
1x	脚部	
1x	周囲ライト	
2-3x	ドックカメラ	
1x	降雨センサー	
1x	風速センサー	

ファスナーおよび消耗品

数量	アイテム	トルク / 備考
	該当なし	

工具

数量	アイテム	備考
1x	水スプレーボトル	
1x	レンズクリーナー	
1x	ガラスクリーナー	
1x	マイクロファイバークロス	

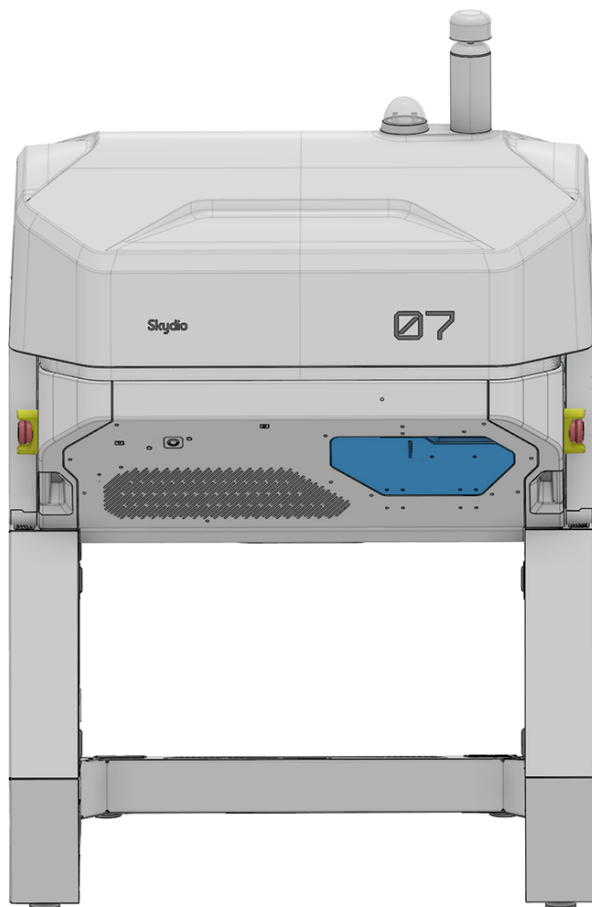
安全情報

危険

- モーター駆動式Dock for X10の可動部に注意してください。
- 可動部が予期せず閉じたり動作したりする場合があります。
- 挟み込み箇所により、重傷または死亡事故につながる恐れがあります。
- 作業エリアに作業に必要な人員以外の人がないことを確認してください。
- すべての可動機構から 7.0 ft (2.1 m) 以上の距離を保ってください。
- Dock に貼付されているすべてのラベルおよび警告表示に従ってください。
- Dock の無電圧化については、地域／現場固有のロックアウト／タグアウト（LOTO）手順に従ってください。

準備

1. Dock for X10 の電源を OFF にします。
 - a. ユーザーパネルを開きます。

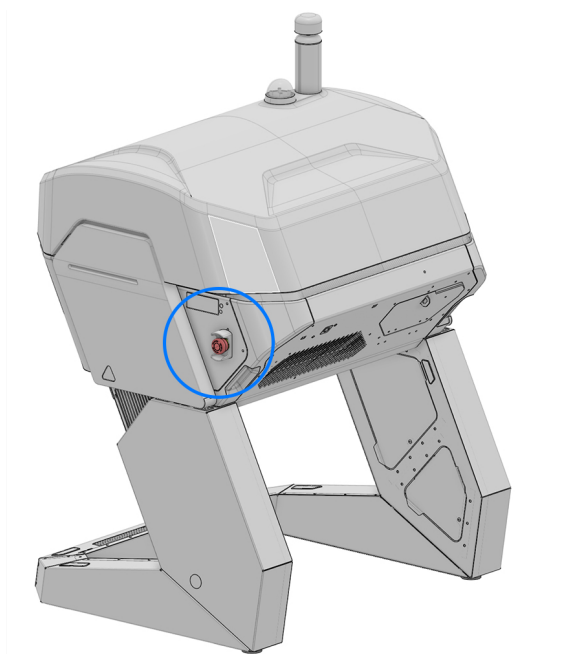


- b. 電源トグルスイッチ（「O」位置）を切り替えてDockをオフにします。



c. ユーザーパネルを閉じます。

2. 1つまたは両方の E-Stop ボタンを作動させます。



Dockの清掃手順

Dock for X10 は、環境条件に応じて必要に応じ清掃してください。Dock が強風、土砂、または粉塵の多い場所に設置されている場合、外部カメラの視界を確保するため、お客様による清掃が必要になる場合があります。

注：Dock for X10 は、Skydio 認定技術者による定期年次サービス時にも清掃されます。

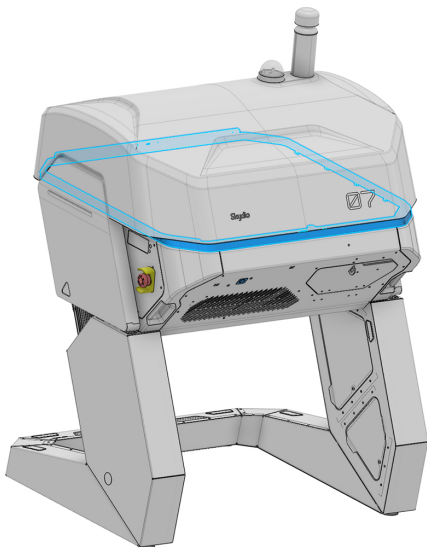
水または指定されたレンズやガラスのクリーナーのみを使用してください。

重要：Dock のいかなる部分にも、石鹼や洗浄剤を使用しないでください。

以下に注意してください。

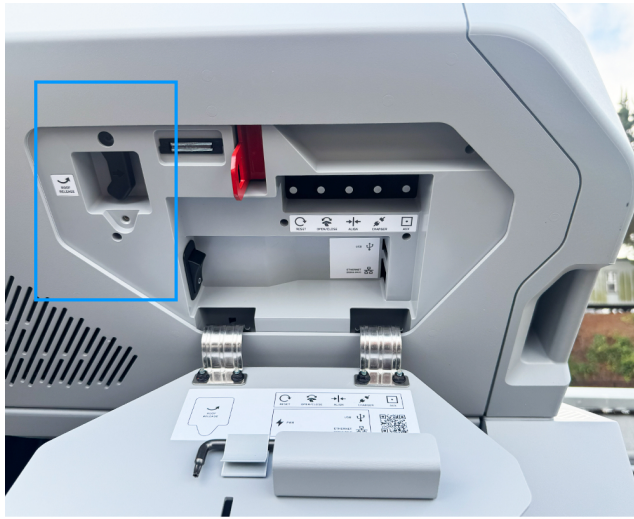
- Dock が著しく汚れている場合（例：暴風雨後）、Dockのルーフが閉じている場合には、ホースで水をかけて水洗いしても問題ありません。

- プラットフォーム下部が汚れていたり変色して見える場合がありますが、これは想定されることであり、入念な清掃は不要です。
- Dock for X10を清掃するには、以下の手順に従ってください。
 - 清掃対象となる Dock 外面に低圧の散水を行います。
 - 湿らせた布で Dock for X10 全体を拭き取ります。
 - 以下の表面から、ほこり、異物、汚れ、拭き跡が目視でなくなるまで清掃してください。
 - ルーフエンクロージャー
 - プラットフォーム（ルーフ開放時）
 - ベース
 - 脚
- Roof を閉じた状態および開いた状態の両方で、Dock 周囲ライト（Perimeter Lights）に散水し、拭き取ります。



Dock の電源が OFF の状態でルーフを手動で開くには、以下を実施してください。

- a. ルーフの留め具を外すために、ルーフの留め具（Roof Latch）のハンドル部分を引いてください。

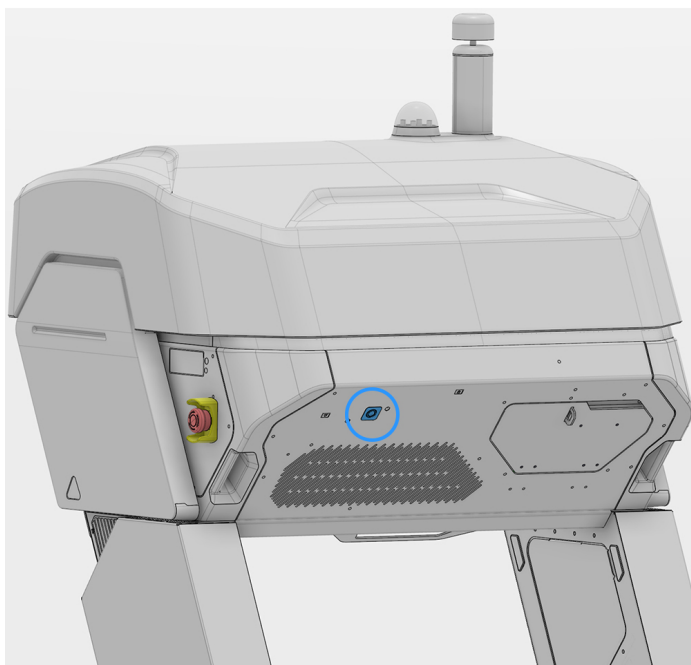


- b. ルーフを手動で持ち上げて、完全に開くまでスライドさせます。

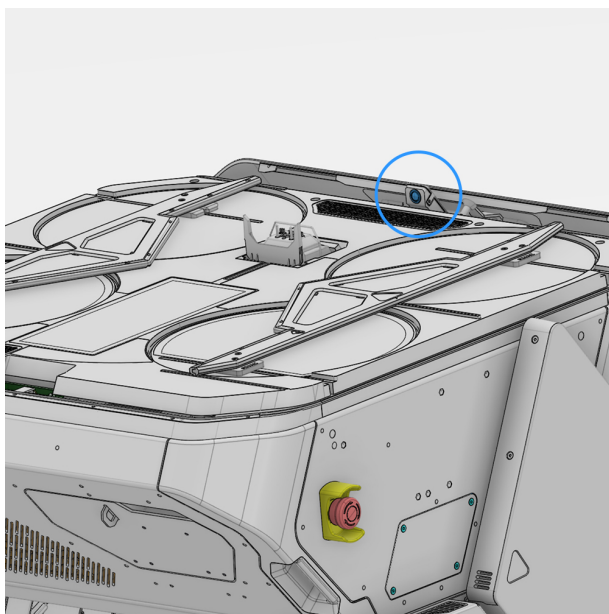
注意

- Roof 動作中、風速計（Anemometer）または降雨センサー（Rain Sensor）を損傷する危険があります。
- 風速計または降雨センサーが損傷する可能性があります。
- Dockのルーフを手動で開閉するときは、風速計や降雨センサーを持ってルーフを操作しないでください。

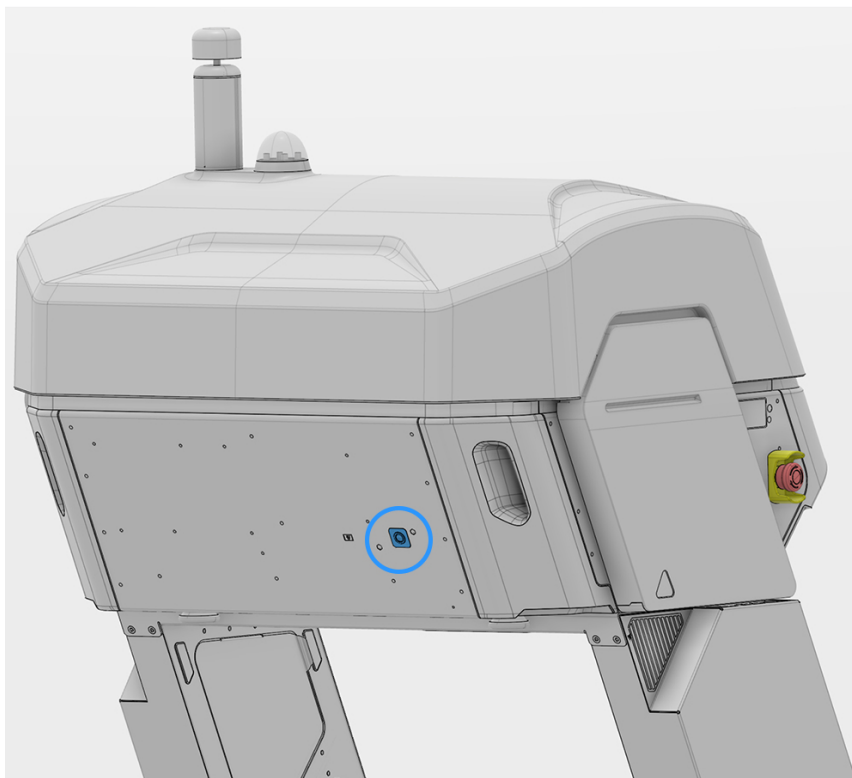
- Dockカメラを清掃します。
 - フロントカメラを清掃します。



- o 屋根を手動で開けて、点検カメラを清掃します。



- o リアカメラがある場合は清掃します。

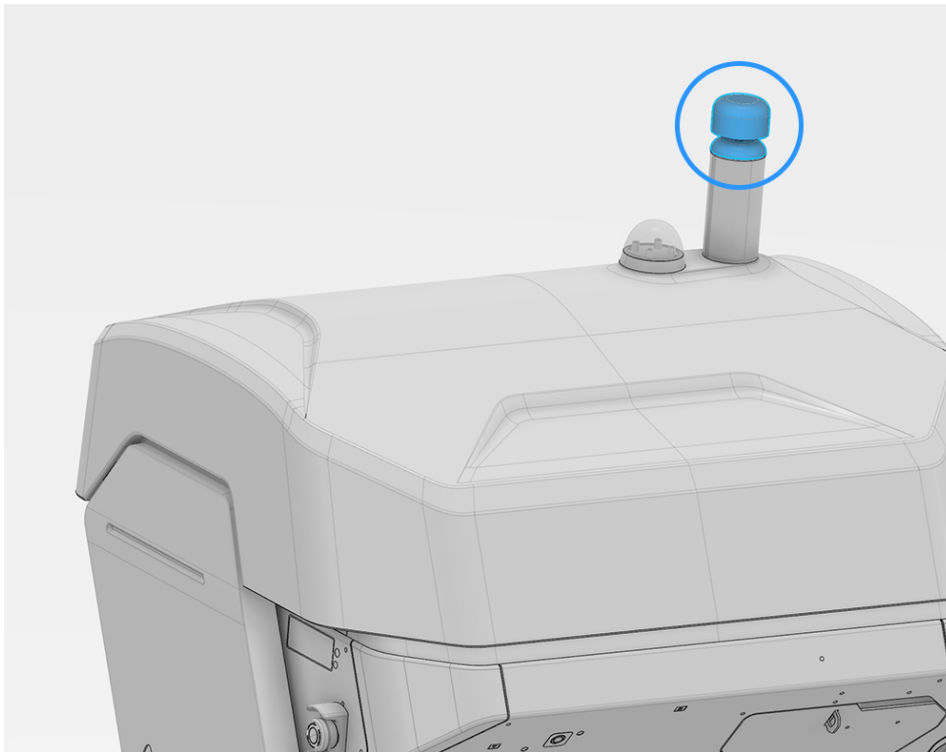


注：ガラスクリーナーシートを使用しても構いません。

各カメラについて、以下を実施してください。

- a. カメラレンズに軽く水を吹き付けます。
 - b. 水滴を自然に流れ落ちさせます。
 - c. 湿らせた布でレンズをやさしく拭きます。
 - d. マイクロファイバークロスでレンズを乾拭きします。
- 降雨センサーを清掃するには、以下を実施してください。
 - a. センサーに軽く水を吹き付けます。
 - b. 湿らせた布でセンサーをやさしく拭きます。
 - c. マイクロファイバークロスでセンサーを乾拭きします。

- 風速センサーの下面を、レンズクリーナーを使用してやさしく拭きます。



監視および定期メンテナンス

このセクションには、フライトシステムの状態監視および定期メンテナンス方法に関する情報が記載されています。

定期的な監視およびメンテナンスにより、Dock for X10 の継続的な性能維持を確保できます。

Skydio Cloudでシステムの状態を監視：障害や性能上の問題が発生すると、Skydio Cloud に通知が表示されます。コンポーネント状態に関連するアラートについては、定期的に「設定 [Settings] > 機器 [Equipment] > ドック [Docks]」を確認してください。

環境条件を確認：熱交換クーラー（TEC）や気象センサーなどの特定の保守サービス可能なユニットは、最適な環境条件に依存しています。設置場所において、性能に影響を与える可能性のある過度な粉塵、異物、または極端な温度環境について、設置場所を監視してください。

物理的損傷や異物堆積を点検：フィルターやセンサーなどの部品について、効率低下の原因となる障害物や摩耗がないか定期的に点検してください。

交換ガイドラインを遵守：コンポーネントに持続的な障害、性能低下、または繰り返しエラー通知が発生した場合は、Skydioサポートにご連絡ください。

ドローンの交換と運用の再開

このセクションでは、ドローンを交換して運用を再開する方法について説明します。

Skydio X10ドローンを交換した場合は、交換したドローンをSkydio Cloudに登録し、Dockにリンクさせる必要があります。

デバイスの登録とリンク

Skydio フライトシステム群を管理するには、ハードウェアデバイスを登録およびリンクし、アップデートを受信可能にするとともに、お客様の Skydio Cloud 組織へ関連付ける必要があります。

注：大規模なフリートを運用している組織の場合、担当のカスタマーサクセスマネージャーがSkydio Cloudで新しいSkydioドローンとバッテリーを一括登録するお手伝いをいたします。

デバイス登録により、使用状況の追跡および追加ソフトウェアライセンスの割り当てが可能になります。登録対象ハードウェアは以下のとおりです。

- ドローン
- Dock
- 外部アンテナ

- コントローラー
- センサーパッケージ
- アタッチメント
- バッテリー

注意

- 機器の設定不良または動作不良のおそれがあります。

デバイスの登録方法

このセクションでは、デバイスの登録方法を説明します。

1. 設定 [Settings] > **デバイス [Devices]** を選択します。
2. **デバイスの登録**を選択します。
3. **デバイス名**を入力します。

登録するデバイスに応じて、UAV 名、シリアル番号、またはバッテリーシリアル番号を入力してください。

4. デバイス名を変更します。

デバイス名は Fleet Page および運用時に表示されます。デバイス名を変更するには、以下を実施してください。

- a. **デバイス**タブから、名前を変更するデバイスを探します。
- b. 3点リーダーをクリックします。
- c. **設定の変更 [Change Settings]** を選択します。
- d. 名前を変更し、保存 [Save] を選択します。

ドローン名およびバッテリーシリアル番号の確認手順

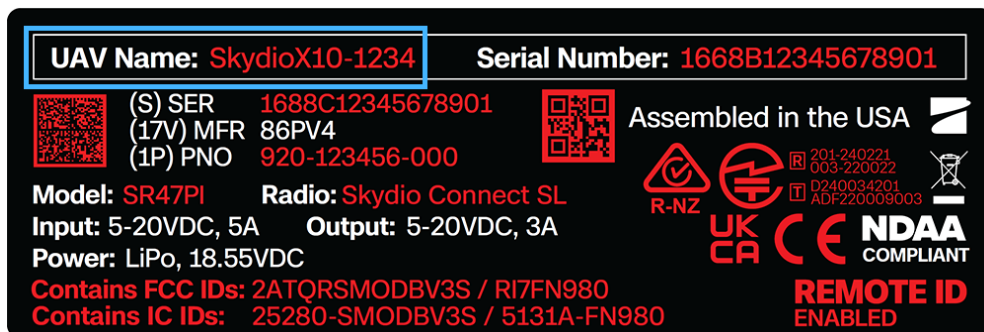
このセクションでは、ドローン名およびバッテリーシリアル番号の確認方法について説明します。

Skydio X10 UAVの名前とバッテリーシリアル番号は、ドローンのバッテリーケース内の規制 / 識別のラベルに記載されています。

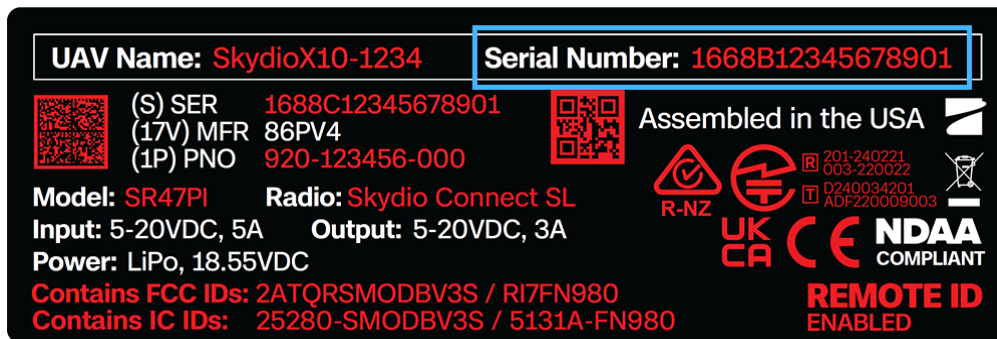
ラベルの位置



- UAV 名は「SkydioX10-」で始まり、ラベル左上に記載されています。



- 16桁のシリアル番号はラベルの右上に記載されています。



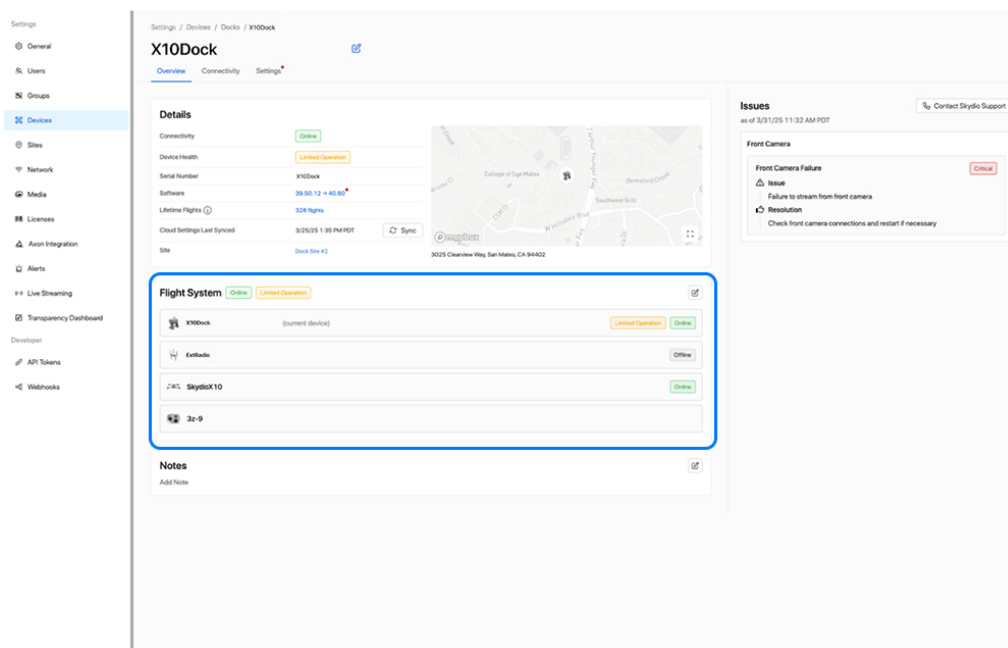
デバイスのリンク方法

以下すべてのフライトシステム部品が登録済みであることを確認します。

- Skydio X10
- Dock for X10
- 外部アンテナ

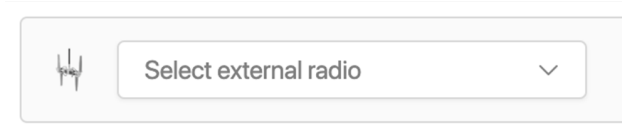
1. Dock for X10デバイスページを開きます。

概要 [Overview] タブから フライトシステム [Flight System] セクションを探します。



2. フライトシステムを編集します。

リンク可能デバイス一覧を表示するには、右上の編集アイコンをクリックします。



3. デバイスをリンクします。

- a. 該当する外部無線機とドローンをドロップダウンメニューから選択します。
- b. 適用するには、**保存 [Save]** をクリックします。

デバイスは、次回インターネット接続時にリンクされます。

4. フライトシステムが正常に動作していることを確認するため、飛行前点検および機能確認飛行（FCF）を実施してください。

[機能確認飛行（FCF）](#)

センサーパッケージの交換方法

このセクションでは、センサーパッケージの取り外しおよび取り付け方法について説明します。

必要なアイテム

部品

数量	品目	備考
1x	VT300-Z ● 64MP ワイド ● 48MP 望遠 注：カメラはロスレスズームおよび高度画像処理に対応	
1x	VT300-L ● 64 MP狭角モジュール ● 50MP 1インチ広角モジュール ● LEDフラッシュライト ● FLIR Boson+ レディオメトリックモジュール	

ファスナーおよび消耗品

数量	アイテム	トルク / 備考
4x	M2.5キャプティブスクリュー	28 cNm

ツール

数量	アイテム	備考
1x	Skydioトルクツール (2 mm, 28 cNm)	

安全情報

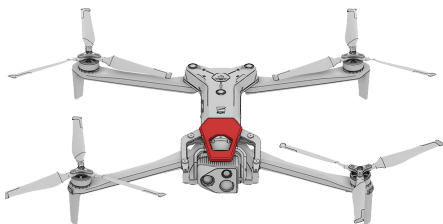
センサーパッケージは交換可能ですが、この作業は頻繁に実施したり現場作業として実施することを想定していません。必要な場合のみ実施し、以下の手順に従ってください。

センサーパッケージの取り外し

このセクションでは、センサーパッケージの取り外し方法について説明します。

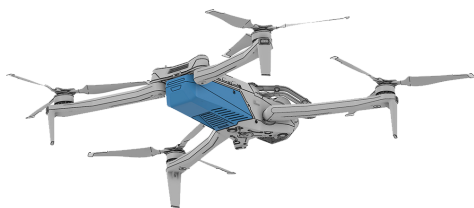
参考動画：「[X10 Getting Started - How to Install and Uninstall a Sensor Package](#)」を参照してください。

1. ジンバルスタビライザークリップを取り外します。



2. X10のバッテリーを取り外します。

バッテリーの取り外し

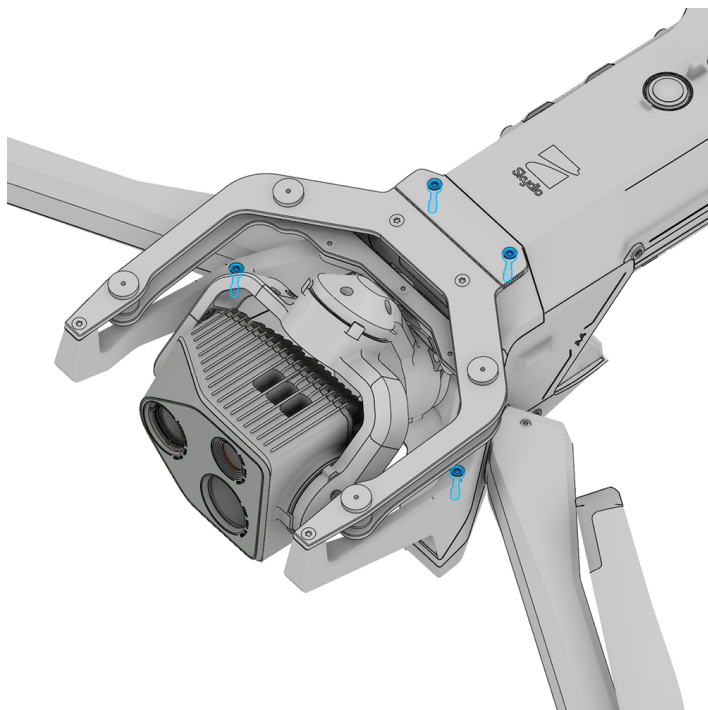


3. センサーパッケージ固定部（4箇所）を緩めます。

a. 2 mmの六角工具で4本の固定型M2.5六角ネジを緩めます。

センサーパッケージキットに付属の工具をご使用ください。

注：4本の固定ネジはキャプティブスクリューであり、センサーパッケージから外れません。



4. センサーパッケージを取り外します。

- a. センサーパッケージのフレームの端を持ちます。

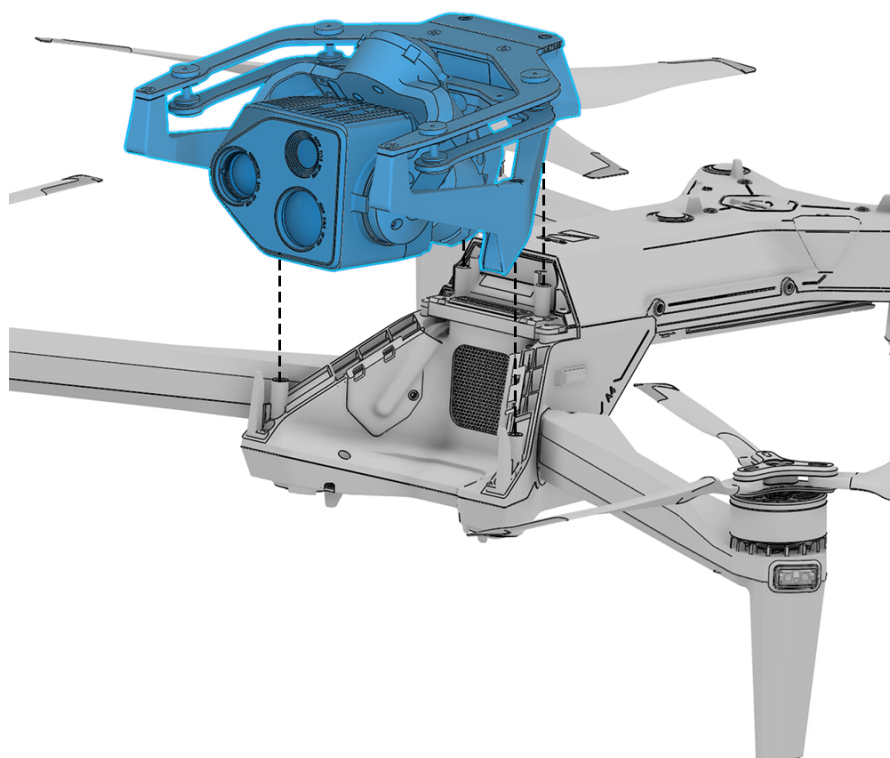
重要：センサーパッケージ自体を持ち上げないでください。

- b. センサーパッケージのフレームを持ち上げながら、左右に軽く揺らし、X10ドローンのガイドポストから完全に外れるまで持ち上げます。

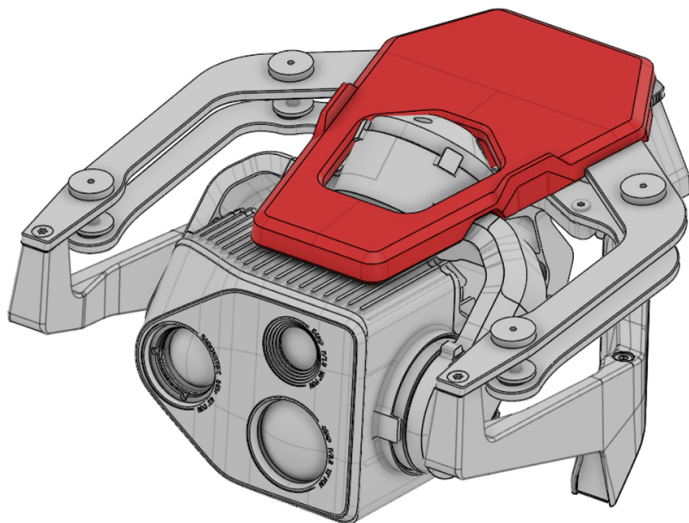
注：この操作により、機体側の2箇所の電気接続部からセンサーパッケージを安全に分離できます。

注意

- ・機器が損傷するおそれがあります。



5. 安全に保管するため、ジンバルスタビライザークリップを取り外したセンサーパッケージに取り付けます。

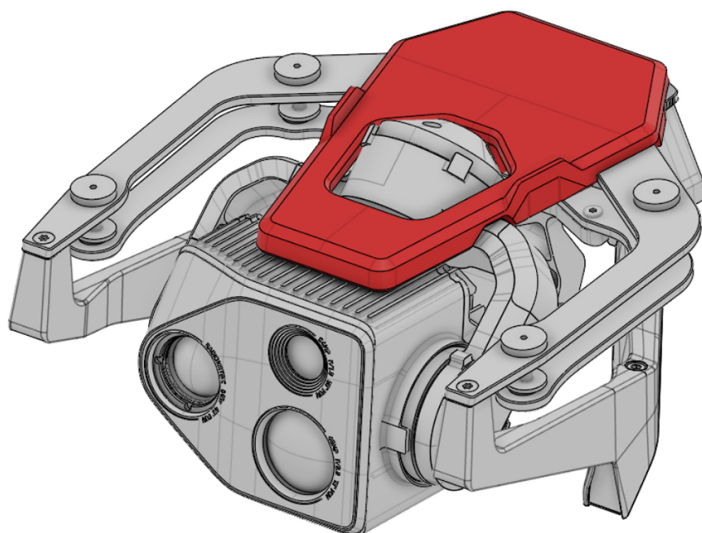


センサーパッケージの取り付け

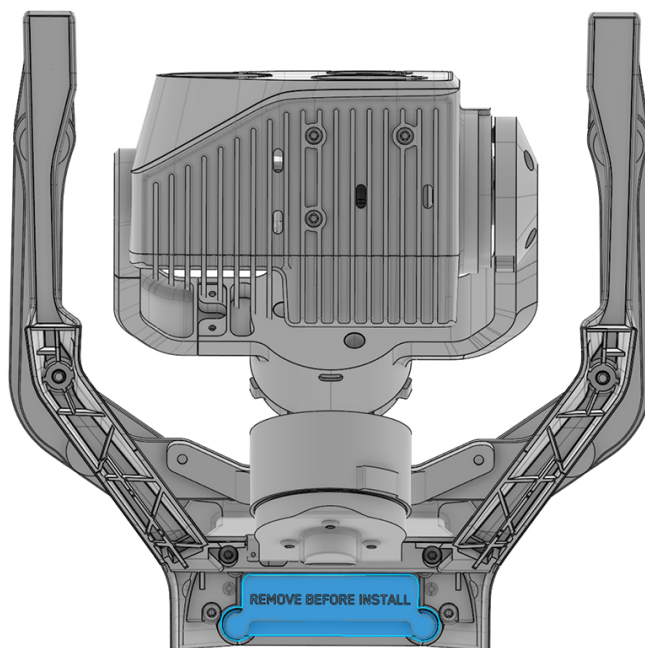
このセクションでは、センサーパッケージの取り付け方法について説明します。

X10 ドローンからバッテリーが取り外されていることを確認します。

1. センサーパッケージのジンバルスタビライザークリップを取り外します。



2. もしある場合は、センサーパッケージからジンバルコネクタプラグを外します。



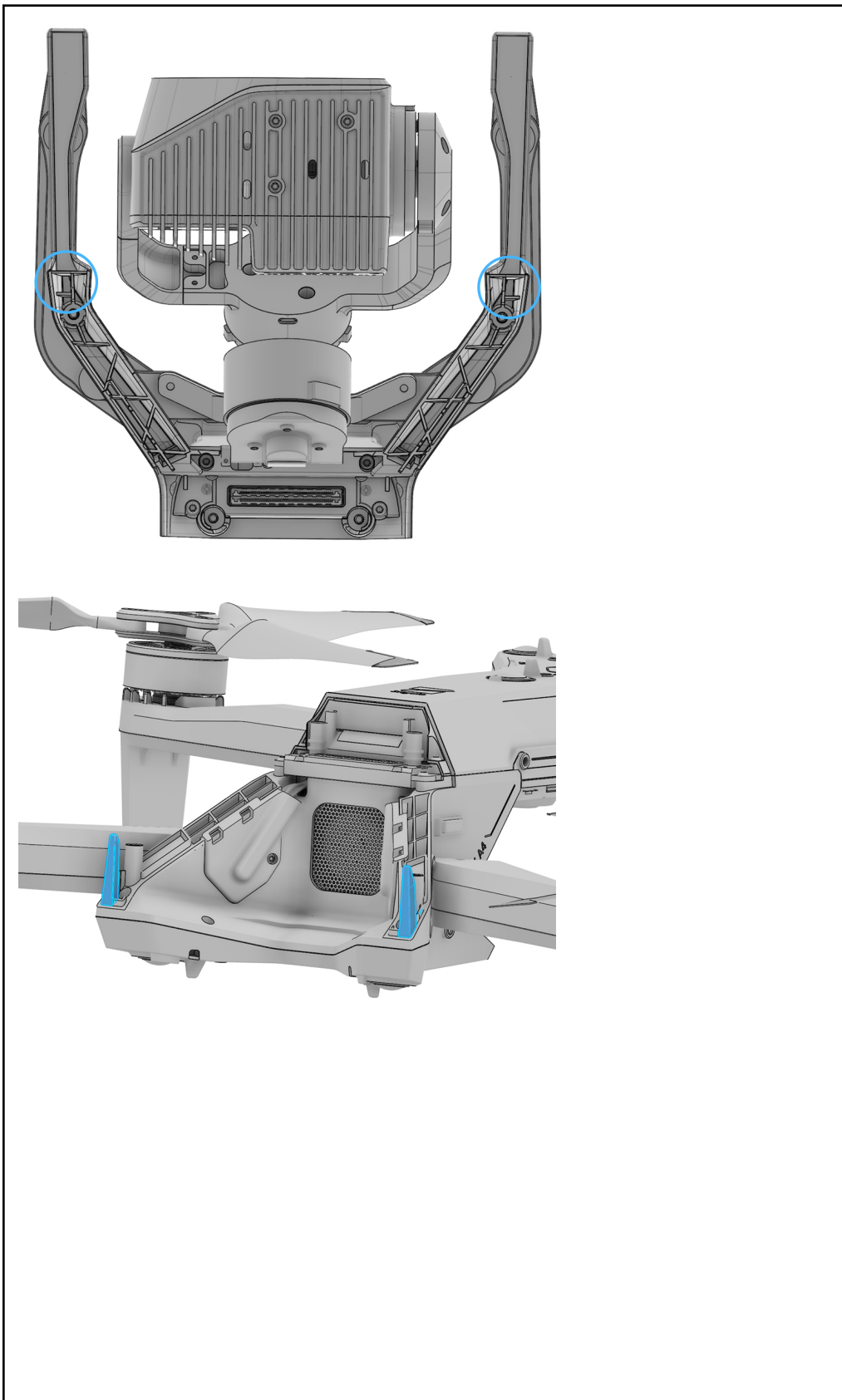
3. センサーパッケージを取り付けます。

- a. センサーパッケージフレームの外側の端を持ってください。

重要：センサーパッケージやカメラに直接触れないでください。

- b. センサーパッケージ下面の2箇所の基準穴（datum holes）を、ドローン側の2箇所の基準ピン（datum pins）に合わせます。

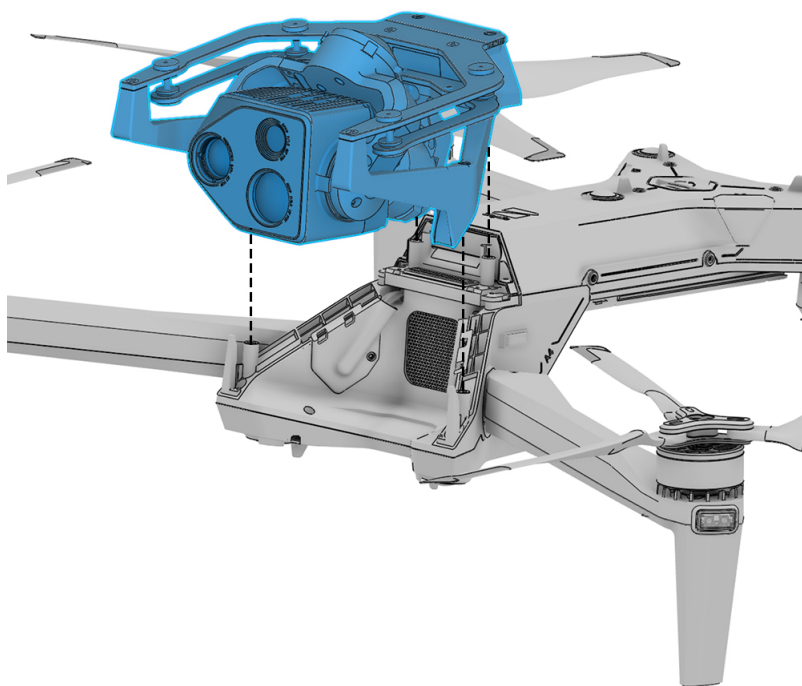
注：この操作により、センサーパッケージの電気コネクタとドローン側電気コネクタが正しく位置合わせされます。



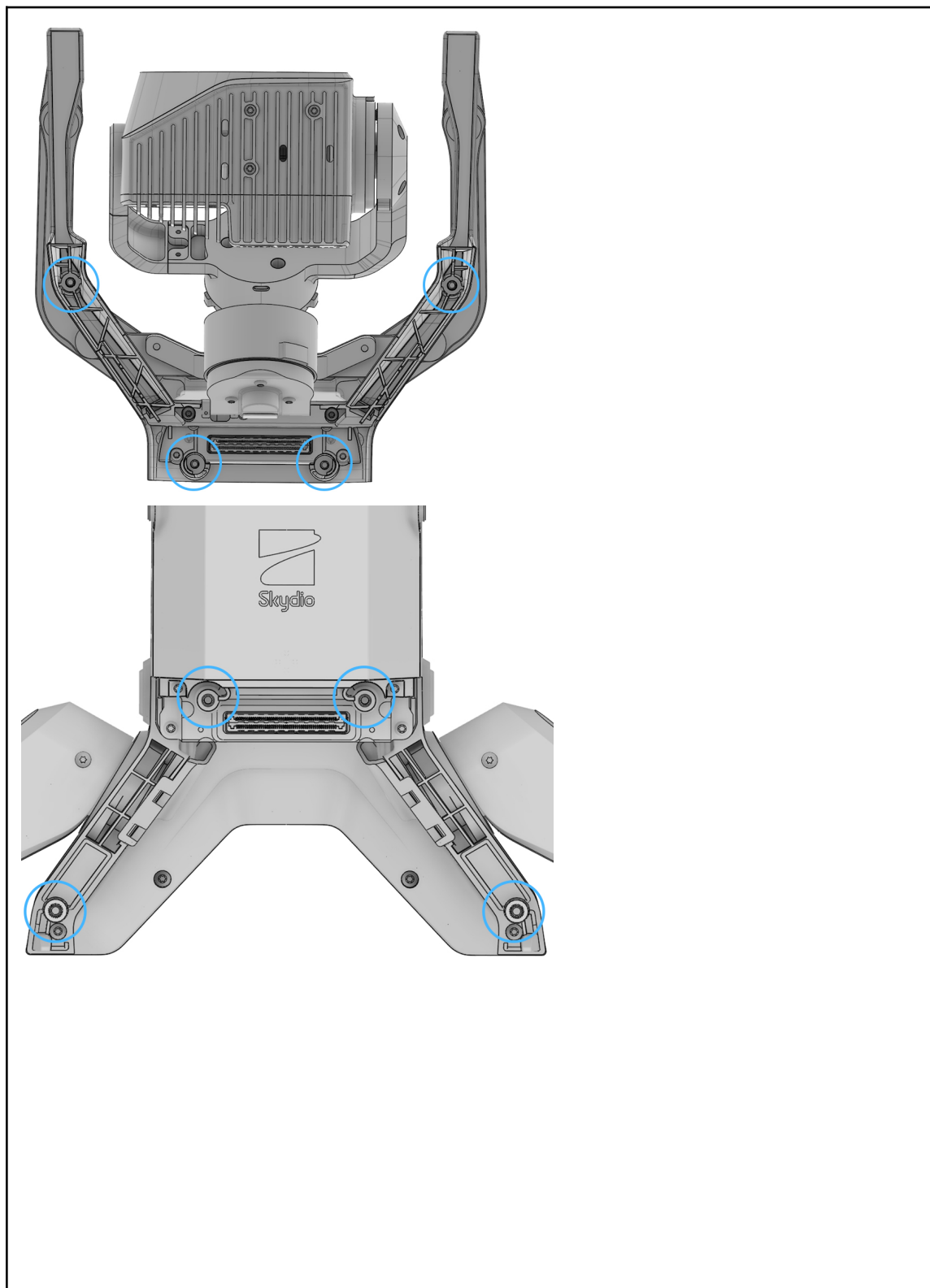
- c. センサーパッケージのフレームをドローンに載せ、最上部のプレートの2本のネジの間をしっかりと押し込み、センサーパッケージが所定位置に固定されるまで押し下げます。

注意

- 機器が損傷するおそれがあります。



- d. センサーパッケージの4個の固定用M2.5ネジがドローンの4個の固定穴に正しく位置合わせされていることを確認します。



4. 4個のセンサーパッケージの留め具を取り付けます。

- a. Skydio Torque Tool (2 mm、28 cNm) または 2 mm 六角工具を使用して、4個の M2.5 キャプティブ六角ネジを締め付けます。

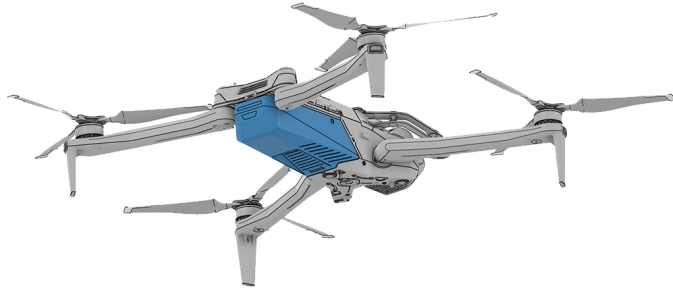
トルク：28 cNm

注：Skydio Torque Tool を使用する場合、規定トルクに達すると工具が「カチッ」と音を発します。



5. X10 バッテリーを取り付けます。

[バッテリーの取り付け](#)



機能確認

このセクションでは、機能確認方法について説明します。

1. 機能確認飛行（Functional Check Flight: FCF）を実施してください。

機能確認飛行（FCF）

お客様によるメンテナンス作業

X10プロペラ

プロペラのスプリング点検 - X10ドローン

この手順ではX10プロペラのスプリング点検方法について説明します。

安全情報

このセクションには関連する安全情報が記載されています。

警告

- プロペラにより、重傷または機体の制御喪失を招くおそれがあります。

点検手順

このセクションでは、作業前に必要な準備手順について説明します。

1. 4箇所のプロペラスプリングを点検します。

以下の条件がすべて当てはまる場合、ドローンのプロペラスプリングを交換する必要があります。

- スプリングが損傷している、または破断している。
- モーターを手で回した際に自由に回転する。

注：モーターが自由に回転しない場合、次の対応について Skydio Advanced Support チームへ連絡してください。この場合、ドローンは修理のため Skydio へ返送する必要があります。

2. スプリング修理用スペアパーツを依頼する場合は、Skydio Advanced Support チームへお問い合わせください。

プロペラスプリングの交換 - X10ドローン

この手順では、X10 の損傷したプロペラスプリング交換方法について説明します。

必要なアイテム

部品

数量	品目	備考
4x	モーター	

ファスナーおよび消耗品

数量	アイテム	トルク／注記
1x	Skydio X10 プロペラスプリング交換 キット（スプリング 6 本）	該当なし

ツール

数量	アイテム	備考
1x	養生テープ	
1x	ピンセット	

安全情報

このセクションには関連する安全情報が記載されています。

警告

- プロペラにより、重傷または機体の制御喪失を招くおそれがあります。

準備

このセクションでは、作業前に必要な準備手順について説明します。

1. 4個のプロペラスプリングを点検します。

以下の条件がすべて当てはまる場合、スプリング修理手順へ進んでください。

- o スプリングが損傷している、または破断している。

- o モーターを手で回した際に自由に回転する。

注：モーターが自由に回転しない場合、次の対応について Skydio Advanced Support チームへ連絡してください。この場合、ドローンは修理のため Skydio へ返送する必要があります。

2. スプリング修理用スペアパーツを依頼する場合は、Skydio Advanced Support チームへお問い合わせください。

スプリング修理手順

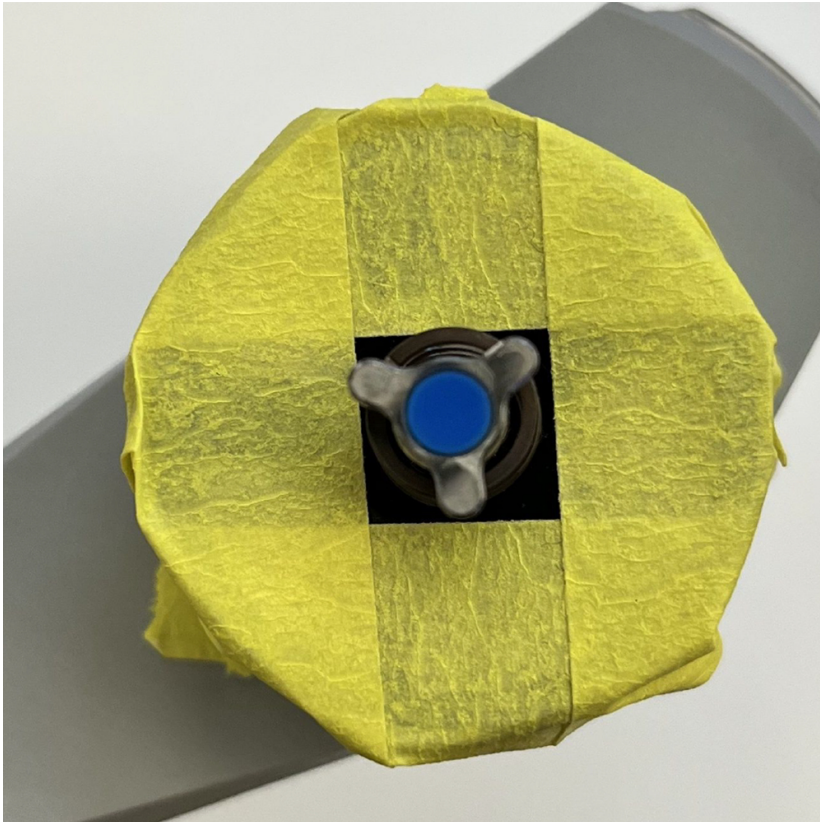
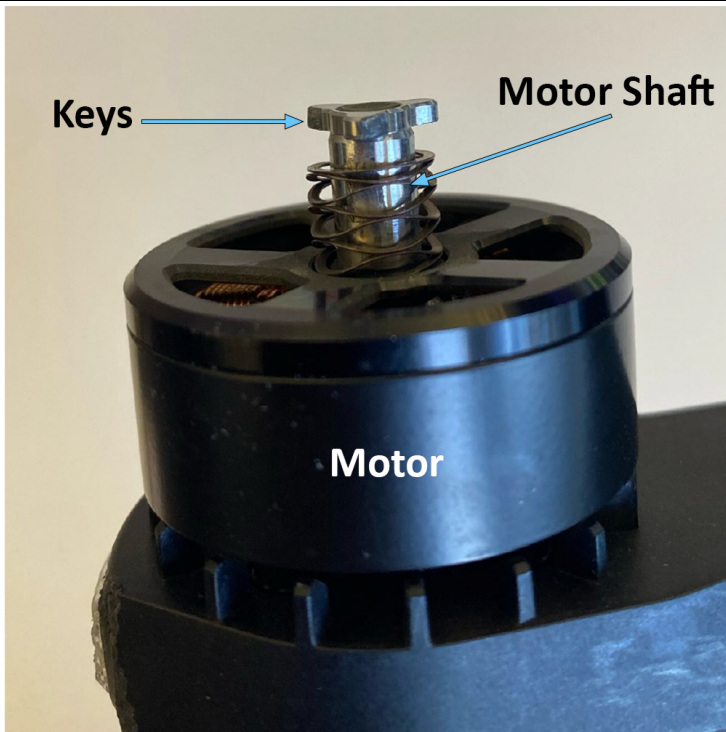
破損した各スプリングについて、以下を実施してください。

1. ドローンからプロペラを1枚取り外します。

[プロペラの交換方法 - X10ドローン](#)

2. プロペラモーターを4枚のテープで覆います。

モーター内部への異物混入を防ぐため、モーターの開口部が外から見えないようにします。



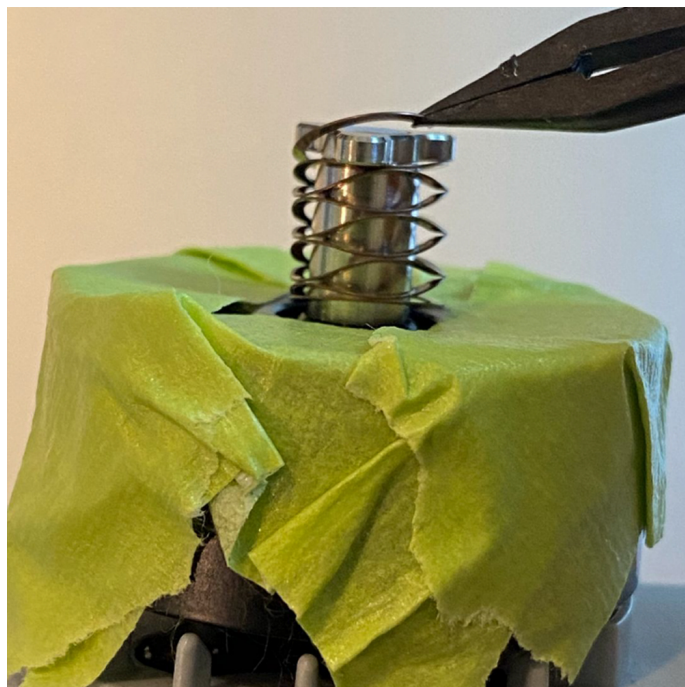
3. 破損したスプリングを 1 本取り外します。

注意

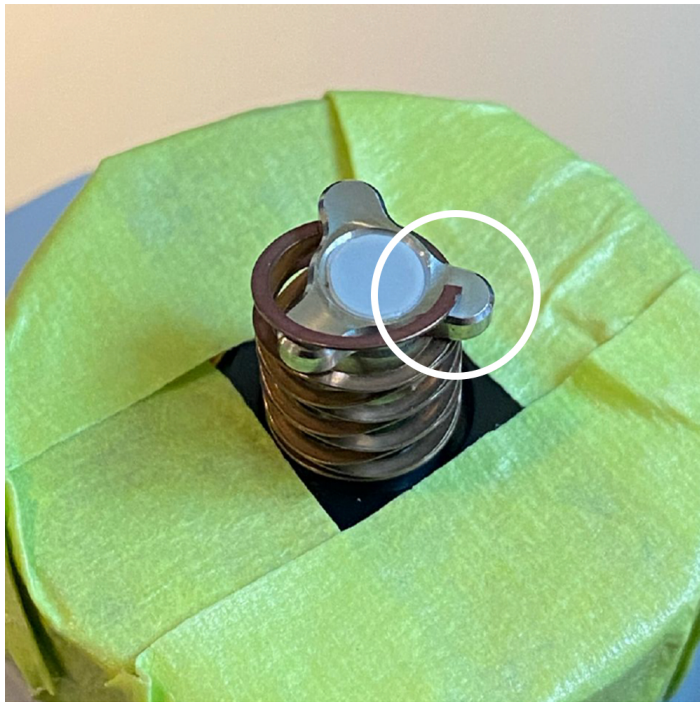
- モーター内部への異物侵入の危険。

プラスチック製ピンセットを使用して、以下を実施してください。

- a. モーターのベース部分を持ちながら、ピンセットを使ってスプリングの端を挟み、最初の爪に引っ掛けます。



b. 2つ目の爪の上にスプリングを掛けます。



c. 3つ目の爪の上にスプリングを掛けます。



d. スプリングは手でひねって爪から外します。

スプリングがモーターシャフトから完全に外れるまで続けます。



4. X10 を上下逆さまにして、ドローン内部に破損したスプリング片が残っていないことを確認します。

目視点検を行い、隙間に残ったスプリング片を除去します。

a. スプリングの破片がないか目視で確認します。



b. 壊れたスプリングの破片はピンセットや指で取り除きます。

5. 新しいスプリングを1本取り付けます。

a. ピンセットまたは指でスプリング端部を軽く広げます。

b. スプリングを1番目、2番目、3番目の爪の下に引っ掛け、時計回り（下）にねじります。





- c. スプリングが垂直状態を維持し、モーターシャフトと正しく位置合わせされていることを確認してください。
- d. スプリングが完全に取り付けられるまで時計回りに回します。

注意

- ・スプリング損傷の危険。

- 6. スプリングがモーターシャフトへ完全に装着されたら、テープを取り外します。

以下を確認してください。

- o ハブ上にテープ残留物がないこと。

- o 飛行のためには、表面が清潔である必要があります。

7. Skydioのサポート記事に従ってプロペラを取り付けます。

[プロペラの交換方法 - X10ドローン](#)

8. 追加の破損または損傷したプロペラスプリングについても、上記手順を繰り返します。

機能確認

1. プロペラがスムーズに回転していることを確認します。

[プロペラの交換方法 - X10ドローン](#)

警告

- プロペラにより、重傷または機体の制御喪失を招くおそれがあります。

最適な性能維持のため、Skydio は以下の場合にプロペラ交換を推奨します。

- 飛行時間 250 時間経過後
- 損傷が確認された場合
- 複数アタッチメント装着かつ高負荷飛行条件で 100 時間飛行後

重要： Dock for X10 フライトシステムでは、REV 2 プロペラを使用してください。

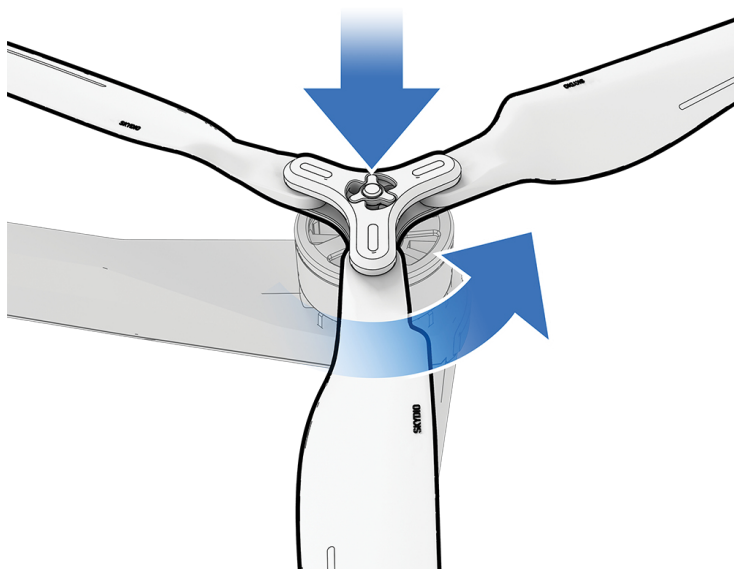
X10ドローンの合計飛行時間は、Skydio Cloud内のドローンデバイスページにて管理されています。

プロペラの交換

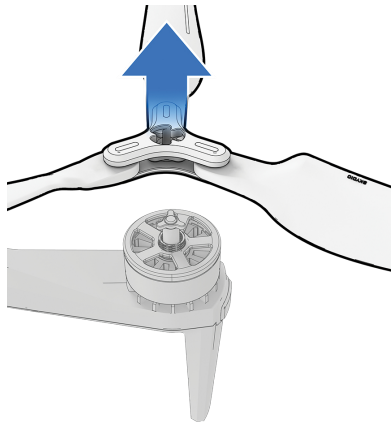
ポイント：プロペラ総飛行時間を管理しやすくするため、すべてのプロペラを同時交換することを推奨します。

1. 古くなった、または損傷したプロペラセットを取り外します。
 - a. 片手でモーターを保持し、もう一方の手でプロペラハブを持ちます。
 - b. プロペラハブを押し下げながら回転させ、ロックを解除します。

注：ドローンのモーターの方向によっては、時計回りまたは反時計回りに回転させる必要がある場合があります。



- c. モーターからプロペラを外します。



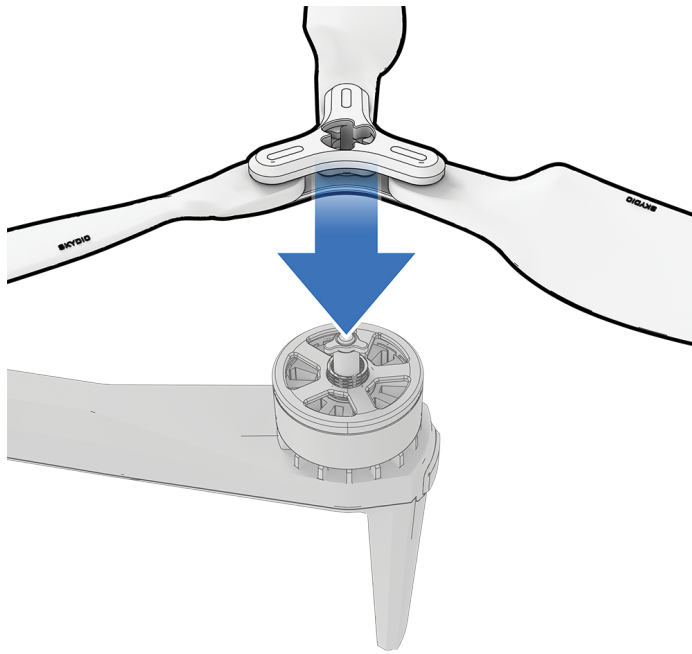
2. モーターに合うプロペラセットを特定します。

交換用プロペラセットを、モーター上の色表示と一致させてください。

3. すべてのモーターに汚れや異物がないか点検してください。
4. 新しいプロペラセットを取り付けます。

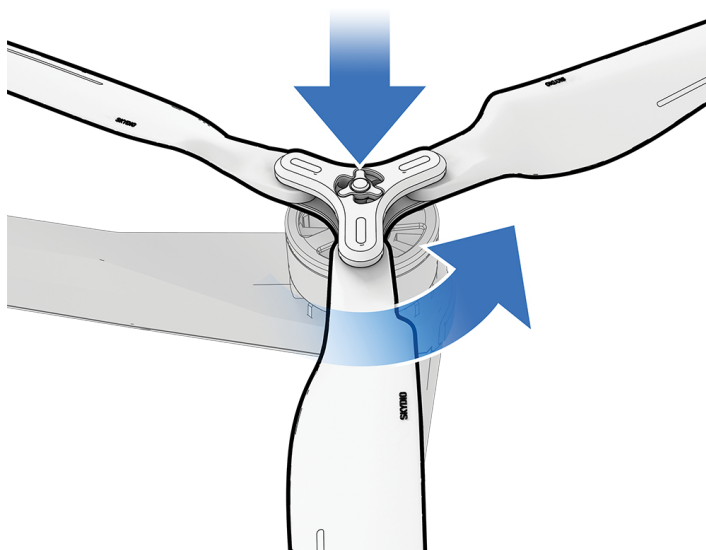
重要：取り付ける際、プロペラを無理に押し込まないでください。プロペラセットがモーターに合わない場合は、セットまたは向きが間違っている可能性があります。

- a. 片手でモーターを保持し、もう一方の手でプロペラハブを持ちます。
- b. ハブ開口部をモーターへ位置合わせします。



- c. そのまま押し下げてひねると、所定の位置にロックされます。

注：ドローンのモーターの方向によっては、時計回りまたは反時計回りに回転させる必要がある場合があります。



5. プロペラおよびX10 ドローンを目視点検します。

以下を確認してください。

- すべてのプロペラに亀裂、欠け、曲がり、その他目視可能な損傷がないこと。
- モーターハブの状態。
- ドローン本体の状態。
- ドローンアームが正しく位置合わせされ、完全に展開されていること。
- バッテリーが完全に装着され固定されていること。
- すべてのアタッチメントが完全に装着・固定・接続されていること。
- 未使用アタッチメントベイがゴムシールで閉じられていること。

6. プロペラセットを交換した後、組織管理者はドローンデバイスページの**プロペラ飛行時間 [Prop Hours]** フィールドを更新してください。

[プロペラ飛行時間の追跡と更新](#)

プロペラ飛行時間の追跡と更新

このセクションでは、Skydio Cloudでプロペラ飛行時間を追跡・更新する方法について説明します。

警告

- 飛行安全性が低下するおそれがあります。

Skydio Cloud では、プロペラ交換後からのプロペラ飛行時間を管理できます。これにより、最大飛行時間を追跡できます。

プロペラが損傷・破損した場合、または推奨交換周期へ到達した場合は、ドローン上の4枚すべてのプロペラを交換してください。**交換済み記録 [Mark Replaced]** ボタンを使ってSkydio Cloud に記録してください。これにより、交換日時が更新され、カウンターがリセットされます。

追跡を開始するには：

1. 「Prop Hours」内の「Mark Replaced (交換済み記録)」をクリックします。

Details

Connectivity	Offline	
Device Health	No Known Issues	
Battery	Unknown	
Serial Number	SkydioX10-1234	
Drone	X10	
Software	37.2.72	
Lifetime Flights ⓘ	18 flights (3 hours)	
Prop Hours ⓘ	-	Mark Replaced
Propeller Type ⓘ	-	
Cloud Settings Last Synced	-	Sync

2. Select the Propeller Typeからプロペラタイプを選択します。

注：Dock for X10 フライトシステムでは REV 2 プロペラを使用します。

Update Propeller Details

Safety Notice

Always replace propellers in full matching sets of 4 to maintain accuracy and safety

Current propeller details

Type

-

Installation Date

-

Operation Time

5 hours

Select new propeller type

REV 1

old



REV 2

new



Select propeller replacement date

May 16, 2025 2:52 pm

Cancel

Update

© 2026 Skydio, Inc. All rights reserved. 専有および機密情報。印刷されたコピーは管理されていません。

76

3. 「Installation Date（設置日）」フィールドへ、最後の交換日時を入力します。

重要：Vehicle Device Page 内に「-」表示がある場合、日付が未入力であることを意味します。直近交換日を入力してください。

Update Propeller Details

Safety Notice
Always replace propellers in full matching sets of 4 to maintain accuracy and safety

Current propeller details

Type	-
Installation Date	-
Operation Time	5 hours

Select new propeller type

REV 1 old



REV 2 new



Select propeller replacement date

May 16, 2025 2:52 pm

Cancel

Update

4. 更新 [Update] をクリックします。

完了後、Skydio Cloud がプロペラ飛行時間の追跡を開始します。

Skydio X10 プロペラの使用時間が 250 時間を超えると、Device Page の「Issues (問題)」パネルへ通知が表示されます。

最適な性能維持のため、Skydio は以下の場合にプロペラ交換を推奨します。

- 飛行時間 250 時間経過後
- 損傷が確認された場合
- 複数アタッチメント装着かつ高負荷飛行条件で 100 時間飛行後

X10ドローンバッテリーのメンテナンス

このセクションでは、X10ドローンのバッテリーメンテナンスについて説明します。

Skydio X10 バッテリーは休止状態（hibernation state）で出荷されるため、箱から出した直後はドローンの電源を入れることができません。Dock の設置時には、設置対応者がバッテリーの休止状態を解除します。

バッテリーメンテナンスサイクル

このセクションには、バッテリーのメンテナンスサイクルに関する情報が含まれています。

バッテリーのメンテナンスサイクルは**2か月**ごとに実施する必要があります。

バッテリーメンテナンスサイクルを実施するには、以下を行ってください：

- バッテリーを完全に充電し、その後完全に放電する
- ドローンが低バッテリー着陸閾値に達するまで、管理された環境で飛行させる

バッテリーが長期間（2か月以上）保管されていた場合、メンテナンスサイクルの実施が必要です。

注：バッテリーストレージに関する情報については、「バッテリーストレージ」をご覧ください。

バッテリーの保管

このセクションには、バッテリーの保管に関する情報が含まれています。

警告

- 極端な環境条件により、火災、爆発、または負傷のおそれがあります。
- 以下の条件では、バッテリーの充電・使用・保管を行わないでください：
 - 極端な温度（14°F / -10°C以下または140°F / 60°C以上）
 - 直射日光下
 - 高温の車内

注意

- 不適切な保管条件または低充電状態により、バッテリーが損傷するおそれがあります。

Dock for X10 内に設置された Skydio X10 ドローンに接続されているバッテリーは、許可された保管温度基準を満たす管理環境内で保管されます。

重要：SOC（State of Charge：充電率）が 50% を超えている場合、14日後に自動放電（self-discharge）が開始されます。容量維持のため、14日間飛行のないアイドル状態のバッテリーは自動放電を開始します。放電完了には数日かかる場合があります、この間バッテリーがわずかに暖くなることは正常です。

重要：ドローンに接続されておらず、Dock 外で保管する場合は、バッテリーを少なくとも **SOC 50%** に充電してください。

手順：バッテリーの交換

このセクションでは、X10ドローンのバッテリーを取り外し、取り付ける方法を説明します。

注意事項

- Dock 充電および運用におけるバッテリー互換性

最適なパフォーマンスを維持するために、Skydioは300回の充電サイクルごとにバッテリーを交換することを推奨しています。

注： バッテリーサイクルとは、バッテリー容量の 80%以上を消費することを指します。損傷がなく適切に保管されたバッテリーは、300 サイクルを超えても安全に使用できる場合があります。

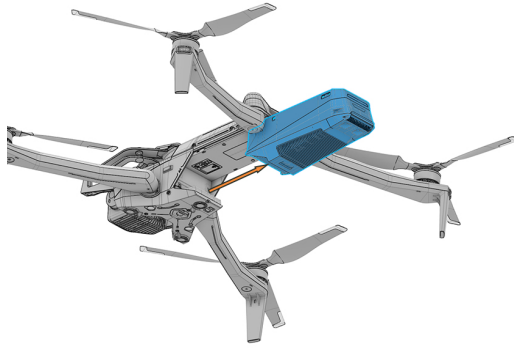
バッテリーの取り外し

このセクションでは、X10ドローンからバッテリーを取り外す方法について説明します。

Skydio X10 バッテリーは磁気接続で固定されています。

ドローンからバッテリーを外すには、以下の手順を行ってください。

2. ドローンのシャーシを片手でしっかりと握みます。
3. もう一方の手でバッテリーを持ちます。このとき、手のひらを電源ボタンの上に、親指をバッテリーの下にして握みます。
4. 指を支点にして、以下の操作を行ってください。
 - o 磁石が外れるまでドローンに押し付けます。
 - o バッテリーをドローンからスライドさせて取り外します。



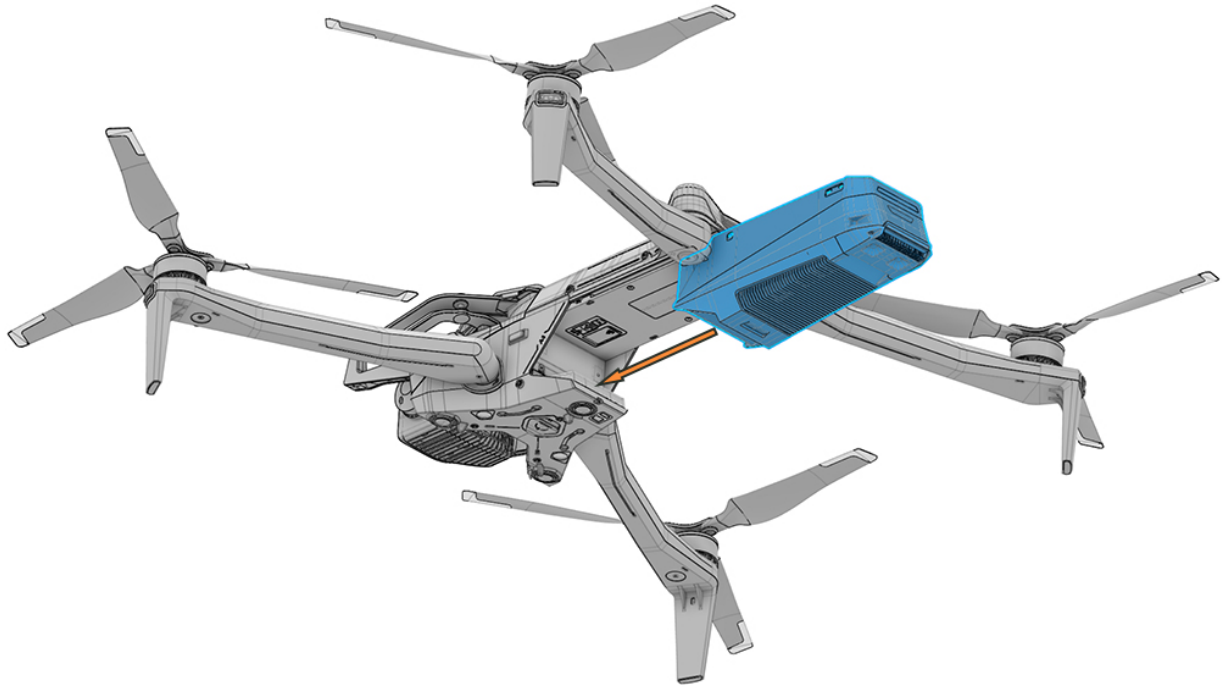
バッテリーの廃棄方法については、「バッテリーの廃棄」を参照してください。

バッテリーの取り付け

このセクションでは、X10ドローンにバッテリーを取り付ける方法を説明します。

バッテリーを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

5. バッテリーを取り付ける前に、接続ピンおよびドローンのバッテリーベイに損傷や異物がないことを確認します。
6. バッテリーをレールに合わせ、磁石が吸着するまでドローンに向かってスライドさせます。



7. 飛行する前に、バッテリーが完全に固定され、ドローンに固定されていることを確認してください。

動作確認

バッテリーが正常に動作することを確認するため、ドローンの電源を入れてください。

バッテリーの廃棄

このセクションでは、バッテリーを適切かつ安全に廃棄する方法について説明します。

警告

- 損傷したバッテリーや不適切に取り扱われたバッテリーにより、火災、爆発、または負傷のおそれがあります。

Skydio X10ドローンとバッテリーは一般廃棄物ではありません。電子機器廃棄物およびリチウムポリマー電池として、適用されるすべての地域の法令および規制に従って廃棄してください。

フライトシステムソフトウェア、ファームウェア、Skydio Cloudの更新

このセクションには、フライトシステムソフトウェア、ファームウェア、Skydio Cloudの更新に関する情報が含まれています。

Skydio は、フライトシステム全体に対して定期的にアップデートを提供しています。アップデートには、新機能の追加、性能改善、または診断上の問題修正が含まれる場合があります。1回のリリースには、システムの異なる部分に対する複数のアップデートが含まれる場合があります。

リリースにはリリースノートが付属しており、新機能や改善内容に加え、既知の制限事項やバグ修正について説明されています。リリースノートには、アップデートが運用にどのような影響を与えるかについての重要な情報が含まれています。

新しいリリースが公開されると、顧客にはメール通知および Cloud 内アラートが送信されます。アップデートが利用可能な場合、各デバイスのページに赤い通知ドットが表示されます。

重要：安全かつ効果的な運用を確保するため、リリースノートを確認し、フライトシステムを最新状態に保つことはお客様の責任です。

定義

ソフトウェアのアップデート

ソフトウェアアップデートは、デバイスのオペレーティングシステム上で動作するプログラムを変更または置換します。これらは、ドローン、Dock、またはソフトウェアアプリケーションの動作を制御する高レベルのデバイス機能を対象としています（例：自律飛行動作の更新）。

ファームウェアの更新

ファームウェアアップデートは、デバイスハードウェアの動作を直接制御する低レベルコードを変更します。

これらは、ドローン、Dock、または外部無線などの物理的な部品に適用されます。

フライトシステムに利用可能なアップデートがある場合、以下の場所に赤い通知ドットが表示されます：

5. フライトシステムページの歯車アイコンの隣
6. デバイスページのバージョン番号の横

Skydio Cloudの更新

Skydio Cloud プラットフォームを更新します。これには、軽微なインターフェース改善や新機能追加が含まれる場合があります。

Skydio Cloud のアップデートは自動的に実施されます。

アップデートがリリースされると、左側サイドバーの**新着情報 [What's New]** メニュー横に赤い通知ドットが表示されます。リリース概要および完全なリリースノートへのリンクを確認するには、左側サイドバーの**新着情報 [What's New]** を選択してください。

更新シーケンス

次の順序でデバイスを更新してください。

2. X10ドローン

[手順：X10ドローンのソフトウェア/ファームウェアの更新](#)

3. 外部アンテナ

[手順：外部無線ソフトウェア/ファームウェアの更新](#)

4. Dock for X10

[手順：Dock for X10ソフトウェア/ファームウェアの更新](#)

関連情報

[手順：X10ドローンのソフトウェア/ファームウェアの更新](#)

[手順：外部無線ソフトウェア/ファームウェアの更新](#)

手順：X10ドローンのソフトウェア/ファームウェアの更新

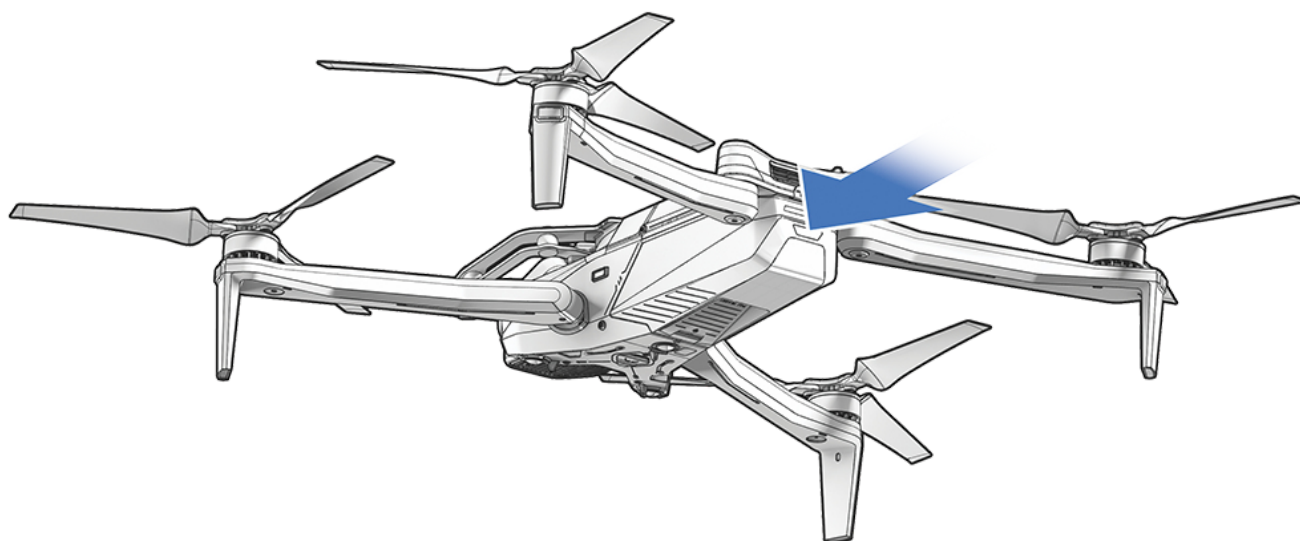
このセクションでは、X10ドローンでソフトウェアまたはファームウェアのアップデートを完了する方法を説明します。

*Skydio Cloud*経由の更新

更新の前に、ドローンが完全に充電されていることを確認してください。更新のダウンロードにはWiFiか安定したインターネット接続が必要です。

- Skydio X10ドローンの電源を入れてください。

バッテリーのボタンを3秒間長押しします。



- Skydio Cloudにログインしてください。

<https://cloud.skydio.com/entry/login>

- **設定 [Settings] > デバイス [Devices]** に移動します。
- 該当するドローンの**デバイスページ**を選択します。

更新が利用可能な場合は、ドローン名の横に表示されます。

- **更新 [Update]** をクリックします。

ドローンを更新するには、画面上の指示に従ってください。

重要：更新中は、ドローンの電源を切ったり、アプリケーションを終了したりしないでください。

更新中は、ドローンのライト（LED）で更新状況が表示されます。

更新ステータス	LEDの説明	画像
初期化中	黄色点灯（Solid Yellow）	
0%～12%	左前アーム 黄色点滅	 

更新ステータス	LEDの説明	画像
12%～25%	左前アーム 黄色点灯 左後アーム 黄色点滅	 
25%～37%	左前アーム 黄色点灯 左後アーム 黄色点灯 右後アーム 黄色点滅	 
37%～50%	左前アーム 黄色点灯 左後アーム 黄色点灯 右後アーム 黄色点灯 右前アーム 黄色点滅	 

更新ステータス	LEDの説明	画像
50%～100%	黄色ブリージング（Breathing Yellow） 注： LEDは50%から100%の間に点滅することがあります。	 
完了	緑色点灯（Solid Green）	 
エラー	赤色点滅（Flashing Red）	 

重要：ダウンロードおよびインストール完了後、ドローンは自動的に再起動します。

- 再起動後、ドローンへ再接続し、アップデートが正しく適用されていることを確認してください。
- すべての部品を更新した後、フライトシステムを通常運用へ戻す前に、Functional Check Flight（機能確認飛行）を実施してください。

機能確認飛行 (FCF)

手順：外部無線ソフトウェア/ファームウェアの更新

このセクションでは、External Radio のソフトウェアまたはファームウェアアップデートの実施方法について説明します。

Skydio Cloud経由で更新

- Skydio Cloudにログインします。

<https://cloud.skydio.com/entry/login>

- **設定 [Settings] > デバイス [Devices]** に移動します。
- 該当する外部無線の**デバイスページ**を選択します。

アップデートがある場合は、デバイス名の横に表示されます。

- **更新 [Update]** をクリックします。
- すべての部品を更新した後、飛行運用システムを通常の運用に戻す前に、機能確認飛行を完了してください。

機能確認飛行 (FCF: Functional Check Flight)

手順：Dock for X10ソフトウェア/ファームウェアの更新

このセクションでは、Dock for X10 のソフトウェアまたはファームウェアアップデートの実施方法について説明します。

Skydio Cloud経由の更新

アップデート前に、ドローンが完全に充電されていることを確認してください。アップデートダウンロード時には、WiFi または安定したインターネット接続へ接続してください。

5. X10のDockの電源が入っていることを確認します。

6. Skydio Cloudにログインします。

<https://cloud.skydio.com/entry/login>

7. **設定 [Settings] > デバイス [Devices]** に移動します。

8. 該当するドローンの**デバイスページ**を選択します。

更新が利用可能な場合は、Dock名の横に表示されます。

9. **更新 [Update]** をクリックします。

ドローンを更新するには、画面上の指示に従ってください。

重要：更新中は、Dockの電源を切ったり、アプリケーションを終了したりしないでください。

更新中は、Dockのライト（LED）で更新状況が表示されます。

更新ステータス	LEDの説明	画像
初期化中	黄色点灯（Solid Yellow）	
0%～12%		
12%～25%		
25%～37%		
37%～50%		
50%～100%	黄色ブリージング（Breathing Yellow） 注： LEDは50%から100%の間に点滅することがあります。	
完了	青色点灯（Solid Blue）	
エラー	赤色点灯（Red）	

重要: ダウンロードおよびインストール完了後、Dock は自動的に再起動します。

10. 再起動後、以下を実施してください：

- c. Skydio Cloud 上で Dock に再接続する
- d. アップデートが正しく適用されていることを確認する

11. すべての部品を更新した後、フライトシステムを通常運用へ戻す前に、Functional Check Flight（機能確認飛行）を実施してください。

[機能確認飛行（FCF: Functional Check Flight）](#)

機能確認飛行

各メンテナンス間隔の完了後、Remote Pilot in Control（RPIC）または Field Services Technician による 機能確認飛行（FCF）の実施を推奨します。

重要：機能確認飛行を行う個人は、JCAB 要件に基づく資格を有し、対象運用に必要な飛行承認を取得している必要があります。

フライトシステムのメンテナンス間隔には以下が含まれます：

- システムの設置
- 定期メンテナンス
- 修理
- システム部品の交換
- ソフトウェアのアップデート

FCF はメンテナンスログブックに記録することを推奨します。記録内容には以下を含めてください：

3. FCF 実施日

4. Dock for X10およびSkydio X10ドローンのデバイスID
5. FCFを実施したRPIC
6. FCFの所要時間
7. FCFの結果（飛行後に処理が必要な項目を含む）

注：このセクションには、メンテナンスおよび機能確認飛行ログのサンプルが含まれています。フライトシステムの機能確認飛行に関する標準作業手順書の作成、実行、文書化は、フライトシステムの所有者/運用者の責任です。

印刷可能な機能飛行ログについては、[Maintenance and Functional Check Flight Log Template](#)を参照してください：

メンテナンスログ

記録名	機器ID	作業または更新内容	作業または更新の実施日	作業または更新を実行する担当者の名前
X10アップ デート	X10 - FA1234567	3枚すべてのプロペ ラ交換	2025年5月15日	John Doe
署名： John Doe 2025年5月15日				

機能確認飛行ログ

記録名	機器ID	FCF 完了	FCF 日付	FCFパイロット	FCF所要時間（分）	FCF結果
X10アップ デート	X10 - FA1234567	完了	2025年5月15日	John Doe	10	成功
署名：John Doe 2025年5月15日						

関連情報

手順：機能確認飛行（FCF: Functional Check Flight）

メンテナンスおよび機能確認飛行ログテンプレート

機能確認飛行の手順

このセクションでは機能確認飛行（FCF）に関する情報を説明します。

遠隔運用を実施する前に、Remote Pilot in Control（RPIC）は一連の飛行前点検を完了し、フライトシステムが耐空性を満たし、安全な環境であり、システム構成が運用要件を反映していることを確認する必要があります。

機能確認飛行（FCF）の目的は以下のとおりです。

- ドローンが正常に動作していることを確認する。
- ドローンが安全な運用可能な状態にあることを確認する。
- RPIC が新機能に習熟する。

機能確認飛行のプロセス

機体がが完全に機能し、今後の運用に投入可能であることを確認するため、RPIC は安全なエリア上空で FCF を実施してください。

以下の機能が正常動作することを確認してください：

重要: FCF 中に予期しない飛行挙動が発生した場合は、直ちに帰還・着陸してください。

6. 離陸
7. 各軸方向の手動飛行操作：
 - b. 左右に移動
 - c. 上昇/下降
 - d. 前進/後退
8. ドローンのヨー角と角度変化時のセンサーパッケージのテスト
9. 日常的に使用する機能のテスト
10. 新機能のテスト
11. ドローンの正常な帰還・着陸確認

FCFを開始する前に、以下のことを行ってください。

5. 外部Dockカメラを使用して環境条件を確認します。（フライトシステムページ）

注：詳細な飛行前点検情報については、Skydio Dock for X10のオペレーターマニュアルを参照してください。

6. 離陸やミッションの実行を妨げる可能性のある安全上の問題を特定するために、外部Dockカメラを使用して以下の状況を遠隔確認してください：

- c. 離着陸エリア
- d. 天候条件
- e. 視認性
- f. 周辺環境

ポイント：外部Dockカメラの一覧は、選択したDockの**フライトシステムページ**で確認できます。

外部カメラを使用して、以下を実施してください：

- a. Dock の離着陸エリアに障害物がないことを確認する
- b. 離陸/着陸エリアに人がいないか確認し、離陸前に通知してエリアから退避させる
- c. セーフランディングポイントに障害物や人がいないことを確認する（カメラ視認可能な場合）
- d. 視界の良好さや雲底高度（低い雲）を確認する

重要：視程は、コントロールステーションから少なくとも3マイル以上必要です。RPIC は、雲から垂直方向に少なくとも 400 フィート、水平距離で少なくとも 2,000 フィート離れていなければなりません。

メンテナンスおよび機能確認飛行ログテンプレート

以下は、メンテナンスログと機能確認飛行ログの例です。

メンテナンスログテンプレート

レコード名	機器ID	作業または更新内容	作業または更新実施日	作業または更新実施者
署名：				
署名：				
署名：				
署名：				
署名：				

機能確認飛行（FCF）ログテンプレート

レコード名	機器ID	FCF 完了	FCF実施日	FCFパイロット	FCF所要時間（分）	FCFの結果
署名：						
署名：						
署名：						
署名：						
署名：						

緊急停止およびロックアウト/タグアウト

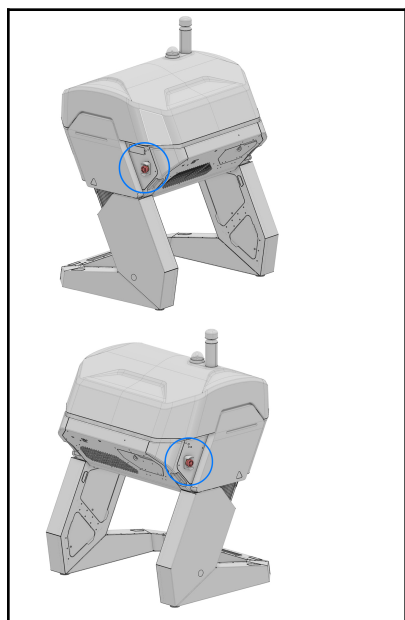
このセクションには緊急停止（E-Stop）およびロックアウト/タグアウトに関する情報が含まれています。

E-ストップ情報

危険

- モーター駆動式Dock for X10の可動部に注意してください。

Dock for X10飛行運用システムには、ベースの外側に赤い緊急停止ボタンが2つ付いています。



緊急停止（E-Stop）ボタンを押すと、モーター、充電器、温度制御装置などの高エネルギー部品への電力供給が遮断されます。ただし、低消費電力の演算部品は通電状態のままになります。

重要： 緊急停止は、以下のように Dock の動作を停止する必要がある場合にのみ使用してください：

2. 目視可能な安全上の危険（例：煙、過熱、物理的損傷）
3. 近くの人や建物に差し迫った危険がある場合
4. メンテナンスまたは電源遮断要求

緊急停止ボタンの作動手順

緊急停止を作動させるには、赤いE-Stopボタンの片方または両方をしっかりと内側に押します。

Dockは直ちにシャットダウンします。電源が切断されたときにドローンが飛行中の場合、ドローンは「Lost Connection（接続切断）」の動作を行います。

注：ルーフの開閉中に緊急停止（E-Stop）が作動すると、電源が遮断され、ルーフモーターは作動しなくなります。ルーフはゆっくりと全開または全閉の位置まで落下します。この状態ではルーフを手動で移動させることができます。

注意

- ルーフ動作中に、風速計（Anemometer）または雨量センサー（Rain Sensor）が損傷するおそれがあります。

ロックアウト／タグアウト（LOTO）

Dock for X10のメンテナンスまたはサービスを完了する前に、ロックアウト/タグアウト（LOTO）手順に従って、Dock for X10に接続されているすべての電源が安全に遮断され、予期せず通電されないことを確認してください。

危険

感電の危険があります。

- 本機器の保守作業を行う前に、以下を実施してください。
 - Dock の緊急停止（E-Stop）ボタンを作動させる。
 - Dock の電源を OFF にする。
 - Dock を AC 電源から切り離す。
 - Dock からすべての外部データケーブルおよび電源ケーブルを取り外す。
 - 現場要件に従い、必要なロックアウト／タグアウト（LOTO）手順を完了する。

重要：現地サービスが必要な場合、Skydio 認定技術者が電源遮断およびフライトシステムの lockout/tagout を実施します。

メンテナンスログ

メンテナンス間隔の記録

各メンテナンス期間の終了時に、修理、交換、更新、または変更に関連するすべての情報をメンテナンスログに記録することをお勧めします。メンテナンスログには、以下の情報を含めてください：

2. メンテナンス実施日
3. メンテナンス実施者の氏名および所属組織
4. 実施したメンテナンス内容（以下を含む）：
 - a. Dockベースのフィールドサービス
 - b. 定期的なドローンのメンテナンス
 - c. ソフトウェアのアップデート
 - d. 機能確認飛行（FCF）の結果

注：FCF情報は別途記録できます。機能確認飛行（FCF: Functional Check Flight）を参照してください。

メンテナンスログのテンプレート

メンテナンスおよび機能確認飛行ログテンプレートについては、[メンテナンスおよび機能確認飛行ログテンプレート](#)を参照してください。

ポイント：メンテナンスログテンプレートに加え、Skydio CloudのデバイスページのNotes セクションを活用することを推奨します。このセクションは、最近のメンテナンス活動の概要を簡潔に記録するのに役立ちます。

関連情報

[メンテナンスおよび機能確認飛行ログテンプレート](#)

Skydioサポート

Skydioのサポート時間

サポート営業時間および利用可能なサポートチャネルは、今後拡大される可能性があります。営業時間およびサービスチャネルの最新情報については、<https://skydio.com/myrequests> をご確認ください。

Skydioサポートへのお問い合わせ方法は、[Skydioサポートへのお問い合わせ手順](#)をご覧ください。

日	時間
月曜日～金曜日	午前9時～午後6時（JST）

関連情報

Skydioサポートへのお問い合わせ手順

サポートログのアップロード手順

Skydioサポートへのお問い合わせ手順

一般的なサポート、定期メンテナンス、緊急時のトラブルシューティング、またはリアルタイムサポートについては、販売代理店へお問い合わせください。

また、以下のカスタマーポータルからもお問い合わせいただけます：

<https://skydio.com/myrequests>

サポートログのアップロード手順

Skydioサポートにトラブルシューティングの問い合わせをするときに、サポートログのアップロードを求められることがあります。サポートログは問題の診断に役立ちます。

アップロードするログには2種類あります。

3. **フライトサポートログ**には、特定のフライトのデータが含まれます。飛行中に「Dockへの帰還失敗」などの問題が発生した場合は、フライトサポートログをアップロードしてください。
4. **デバイスサポートログ**は、飛行外で発生した問題のデバッグデータを含みます。たとえば、離陸できない、ドックカメラが動作しないなど、機体やドックの個別の不具合に対応するためのログで、飛行前後に発生する問題の対応に役立ちます。

注：お客様は、トラブルシューティング目的でフライトログをダウンロードまたは解析することはできません。フライトログ解析に使用されるすべてのツールは Skydio 独自のものです。フライトデータの確認が必要な場合、Skydio Support チームが解析を実施し、必要に応じてサマリーまたは原因分析結果を提供します。審査のためにプライマリカメラまたはナビゲーションカメラからのビデオが必要な場合は、Skydio は事前にお客様の許可を取得します。

フライトサポートログのアップロード方法

2. **フライトシステムページ[Flight Systems Page]** に移動します。

フリート[Fleet] > 該当するデバイスを選択してください。

3. **飛行履歴[Flight History]** までスクロールします。

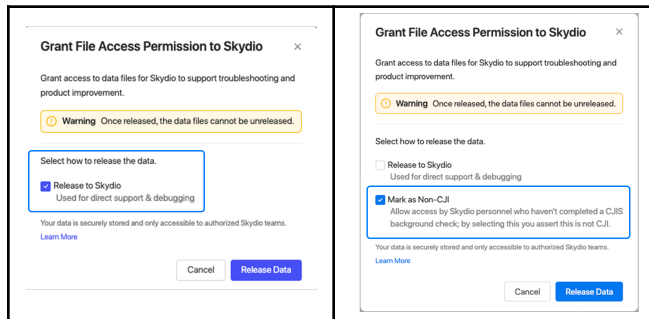
注： Dockカメラの下にあります。

4. 3点リーダーをクリックします。

5. **Skydioフライトサポートログのアップロード [Upload Skydio Flight Support Log]** を選択します。

6. **Skydioへリリース[Release to Skydio]** を選択します。

CJIS（Criminal Justice Information Services）プロトコルに従う組織では、Skydio に提供する特定のフライト、メディア、またはデータファイルについて、必要に応じて **Non-CJI** としてマークできます。これにより、制限付きメディアを保護しながら、Skydio Support がサポートを提供できるようになります。



7. **データをリリース [Release Data]** をクリックします。

デバイスサポートログのアップロード方法

- 該当する**デバイスページ**を開いてください。

設定 [Settings] > デバイス [Devices] またはフリートページからデバイスを選択し、歯車アイコンをクリックしてください。

- **デバイスページ[Device Page]** から、**設定[Settings]** タブを選択します。

注：デバイス名の下に表示されます。

- **ツール[Tools]** セクション内で、**アップロード [Upload]** ボタン（**Upload Skydio Device Support Log**の横）をクリックしてください。

利用規約

安全な運用のために

Skydio Dock for X10 Flight System を運用する前に、www.skydio.com/manuals で提供されている Skydio Dock for X10 Flight System Operator Manual、および www.skydio.com/safety で提供されている Skydio Safety and Operating Guide を含む Getting Started 情報を確認してください。

今後参照できるよう、すべての文書を保管してください。

バッテリー

バッテリーは十分注意して取り扱ってください。詳細については、Skydio X10 Operator Manual および Skydio Safety and Operating Guide を参照してください。

危険

- 火災、爆発、重大な人身傷害、または死亡事故のおそれがあります。

警告

- 火災または機器損傷のおそれがあります。

警告

- 損傷したバッテリーや不適切に取り扱われたバッテリーにより、火災、爆発、または負傷のおそれがあります。

JCABリモートIDコンプライアンスステートメント

日本国内で販売される Skydio ドローンは、標準 Remote ID に準拠しています。特別な免除がない限り、本製品は JCAB が定める Remote ID 要件に適合しています。

JCAB が適合宣言を受理した UAS 一覧は、以下から確認できます：

<https://www.mlit.go.jp/koku/content/001484158.pdf>

ソフトウェアライセンス

Skydioソフトウェアのエンドユーザー使用許諾契約書（www.skydio.com/legal/eulaで入手可能）は、同梱のハードウェアに関連した、Skydioソフトウェアのプリインストール、ダウンロード、インストールまたはその他の使用方法について規定しています。

その他のリソース

Skydio および製品に関する最新情報：www.skydio.com

Skydio の法的情報および製品利用規約：www.skydio.com/legal

Skydio 製品は、米国およびその他の国で登録された特許および商標により保護されています。Skydio の知的財産情報：www.skydio.com/legal/ip

© 2026 Skydio, Inc. All rights reserved.

Skydio および Skydio ロゴは、米国およびその他の国における Skydio, Inc. の登録商標です。

改訂履歴

改訂	説明	日付
1	初回リリース	2026年3月27日